

村上市 塩野町地域 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

令和3年12月

NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

中学生以上の全住民アンケートの実施

配布数：1,387通

回収数：1,268通

回収率：**91.4%**

かなりの高回収率！



**地域住民の意向が十分に反映
されているデータである**

朝日地区まちづくり協議会連絡会議／塩野町地域まちづくり協議会

令和3年度 住民アンケート

- 本アンケートは、塩野町地域に暮らしている中学生以上の全住民を対象に実施するものです。一人ひとりからお考えを伺うことで、世代別・男女別の考え・ニーズを把握・整理し、まちづくり協議会のこれからの取り組みに反映していきます。
- 回答は無記名でお願いします。結果は、個人が特定されない形で集計・分析します。
- アンケート用紙は、お一人ずつ提出していただきますので、家族で意見が違って構いません。思っていることをそのまま回答してください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

(年齢)	1. 10～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

(性別)	男性	・	女性
------	----	---	----

問2 家族構成について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 1人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯同居（親と子）
4. 三世帯以上同居（親と子と孫など）	5. その他	

問3 あなたの仕事にあてはまるものに○をつけてください。

1. 農業	2. 林業	3. 漁業
4. 自営業	5. 会社員	6. 公務員・団体職員
7. パート・アルバイト	8. 専業主婦(夫)	9. 中学生
10. 高校生・高専生	11. 大学生・短大生・専門学校生	
12. その他()	13. 無職	

※仕事されている方及び学生の方は、以下もお答えください。

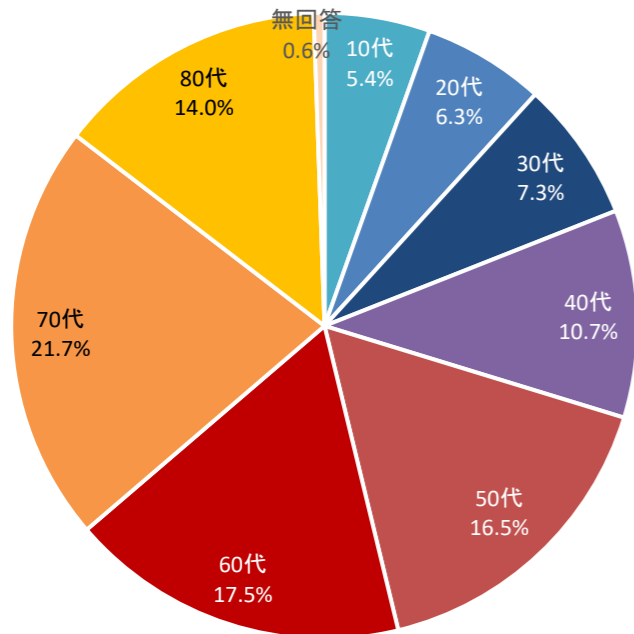
問3-2 休日はいつですか？（祝日を除く）

1. 土曜（毎週）と日曜	2. 土曜（隔週）と日曜	3. 日曜のみ
4. 平日	5. 不定期	

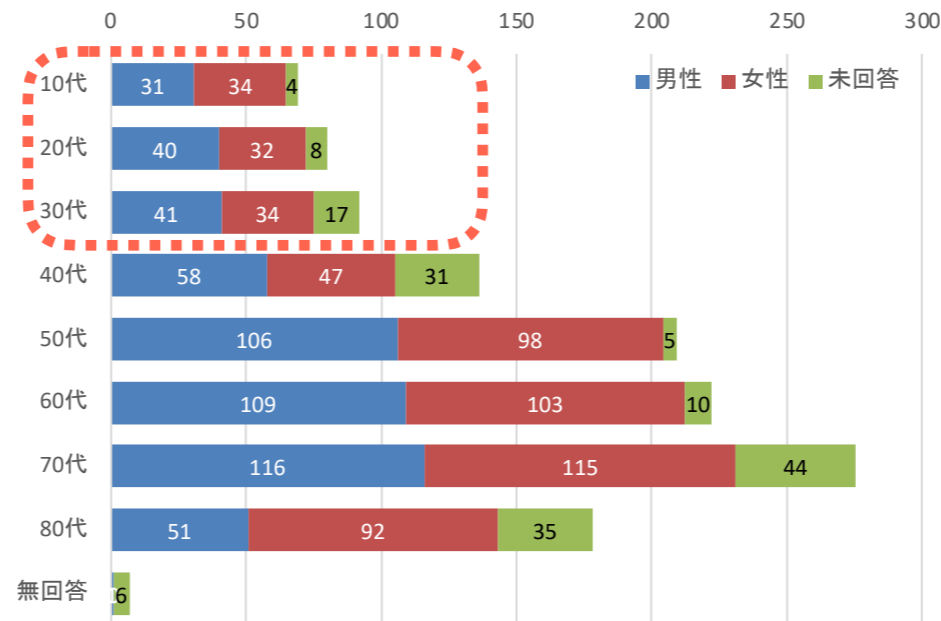
問4 日常の**主な交通手段**は何ですか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 自動車(自分で運転)	2. 自動車(送迎してもらう)	3. バイク(原付を含む)		
4. バス	5. タクシー	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他()

回答者属性 (年代別)



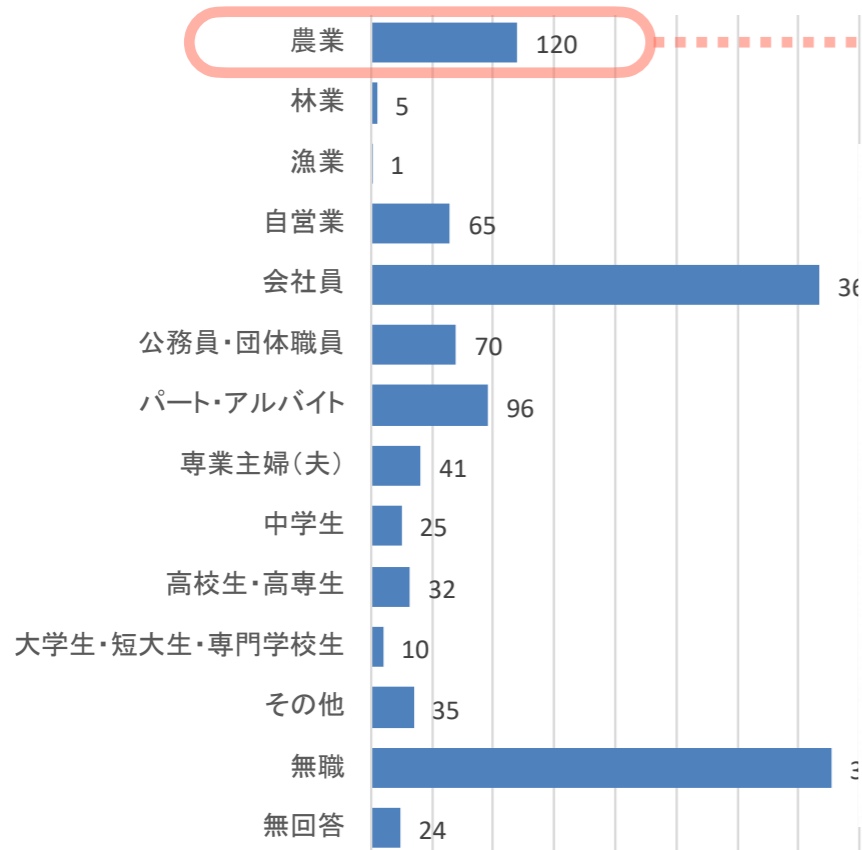
回答者属性 (年代別×男女別)



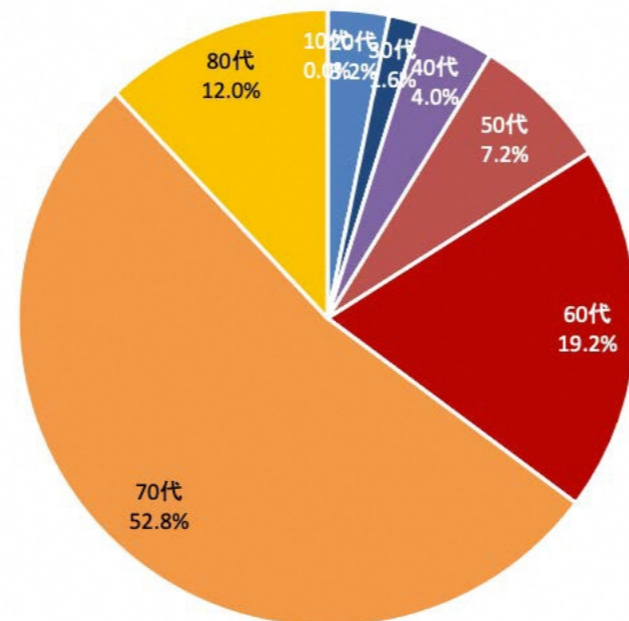
若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。



世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！



農業従事者の年代構成
※専業120人+兼業5人=125人



農業従事者の年代構成 (人数)

年代	農業従事者
10代	0
20代	4
30代	2
40代	5
50代	9
60代	24
70代	66
80代	15
計	125

農地の維持管理はどうなりますか？

回答者属性 (職業)

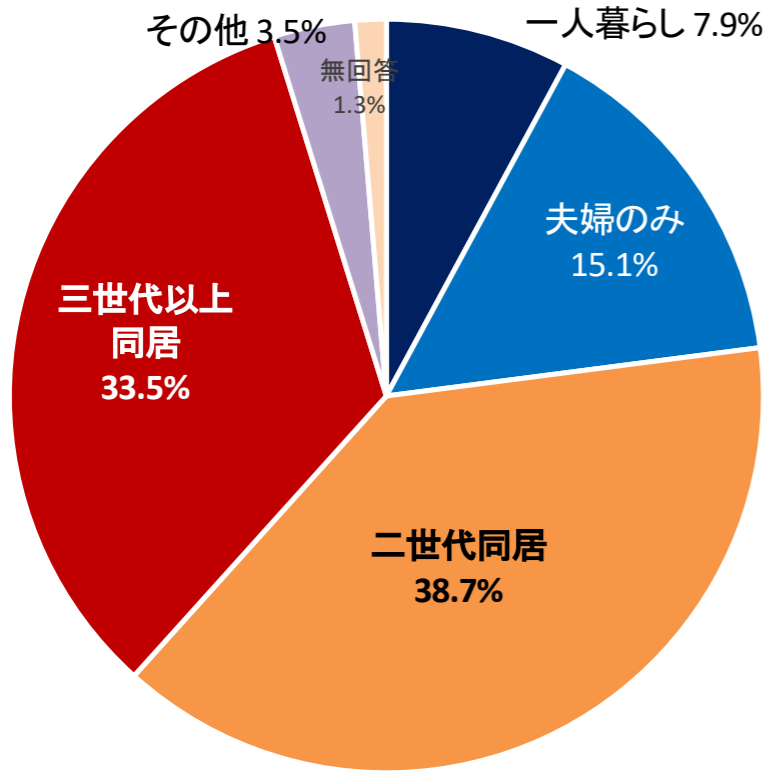
農業従事者の84.0%が60代以上

20年後は50人程度!?

回答者属性 (家族構成)

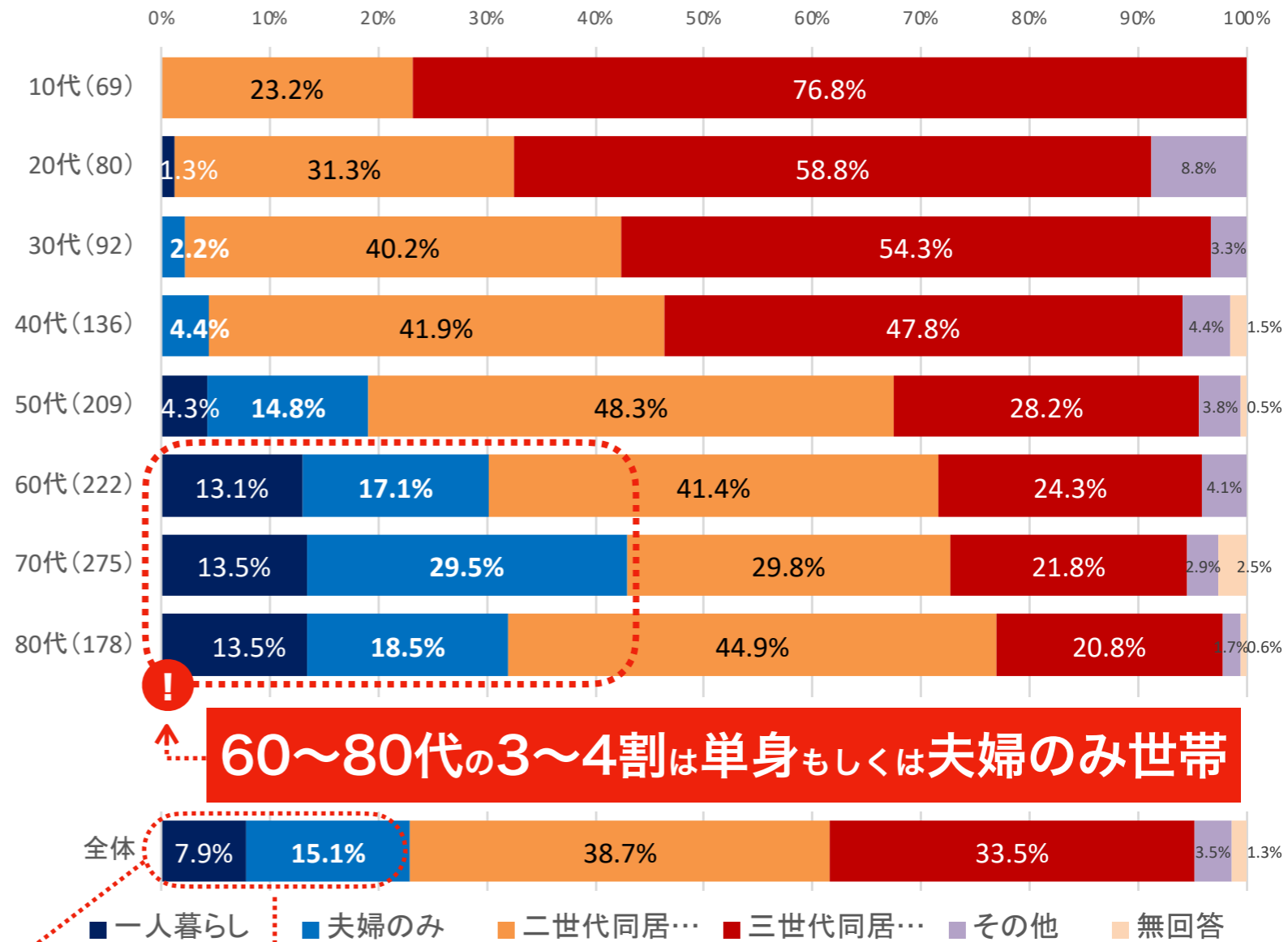
村上市塩野町地域 (2021)

回答者属性 (世帯構成)



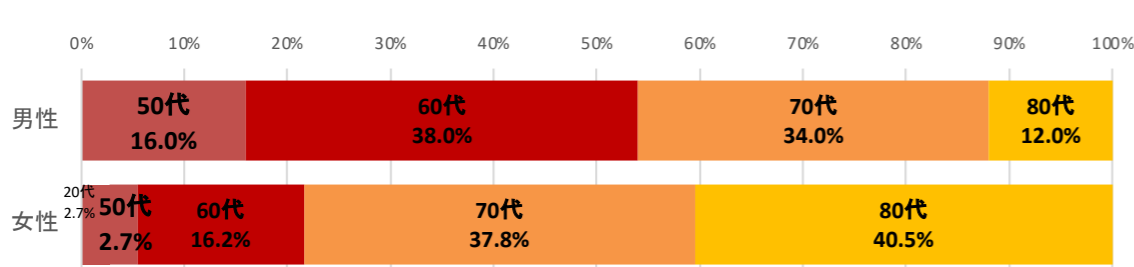
7割以上が親子世帯

年代別の家族構成



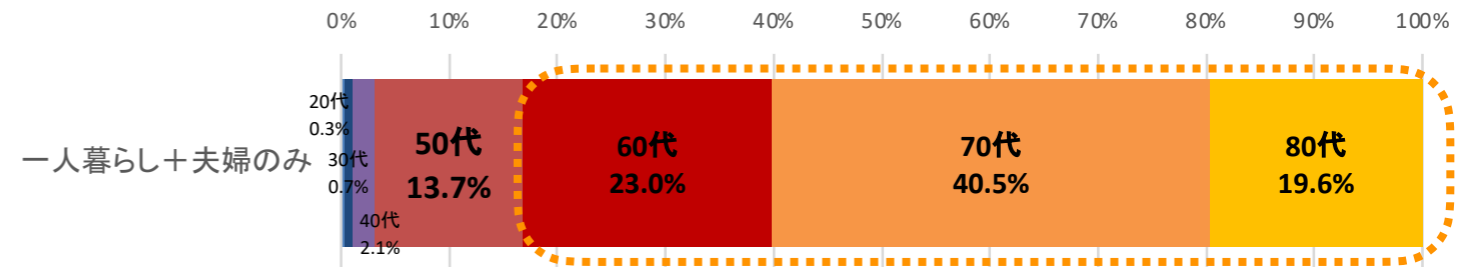
60~80代の3~4割は単身もしくは夫婦のみ世帯

単身世帯の年代構成



男性は60代、女性は80代が最多

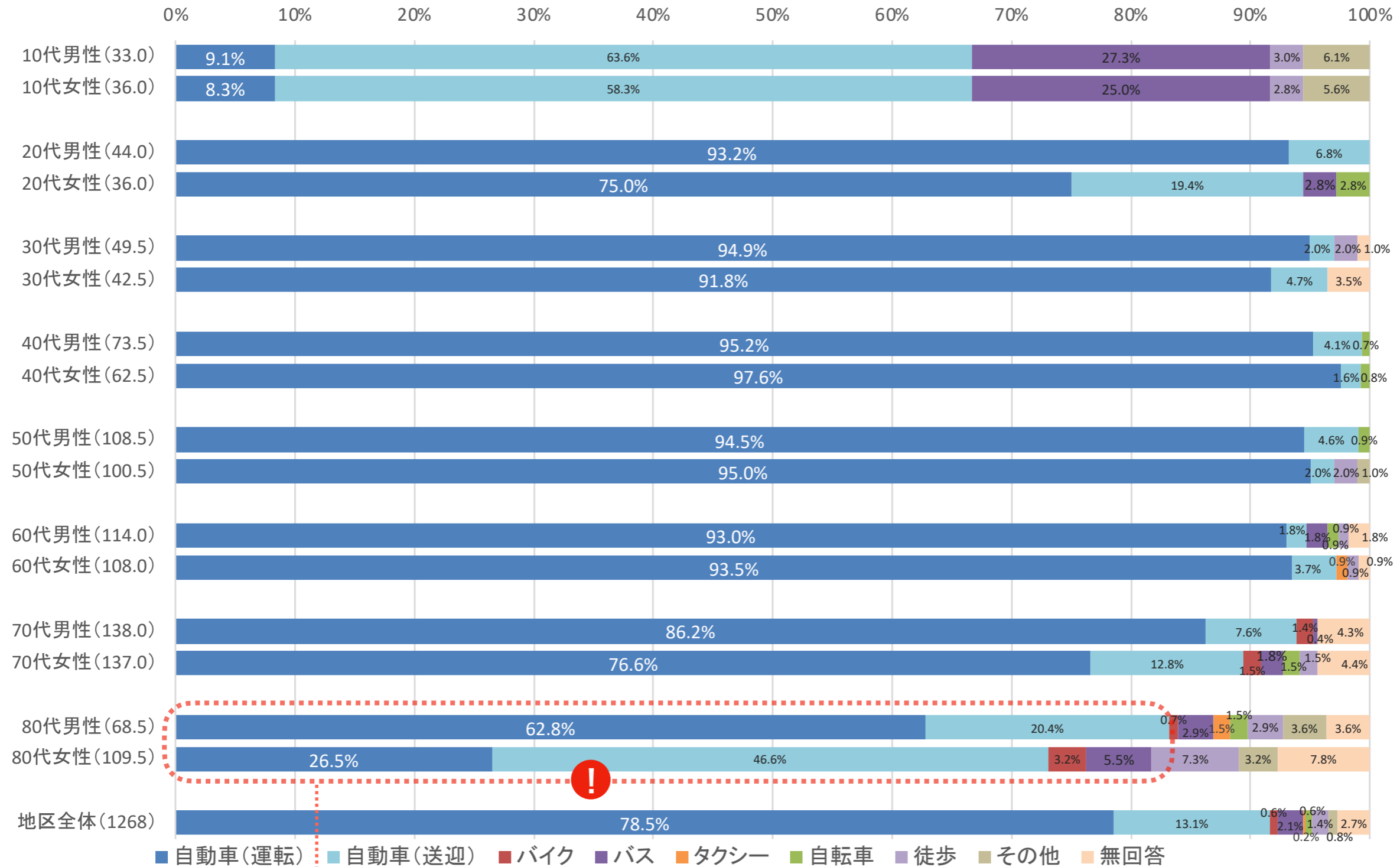
単身+夫婦のみ世帯の年代構成



単身及び夫婦のみ世帯83.2%が60代以上

年代別・男女別の日常的な交通手段

村上市塩野町地域 (2021)



80代になると自分で車の運転をする人の割合が減少

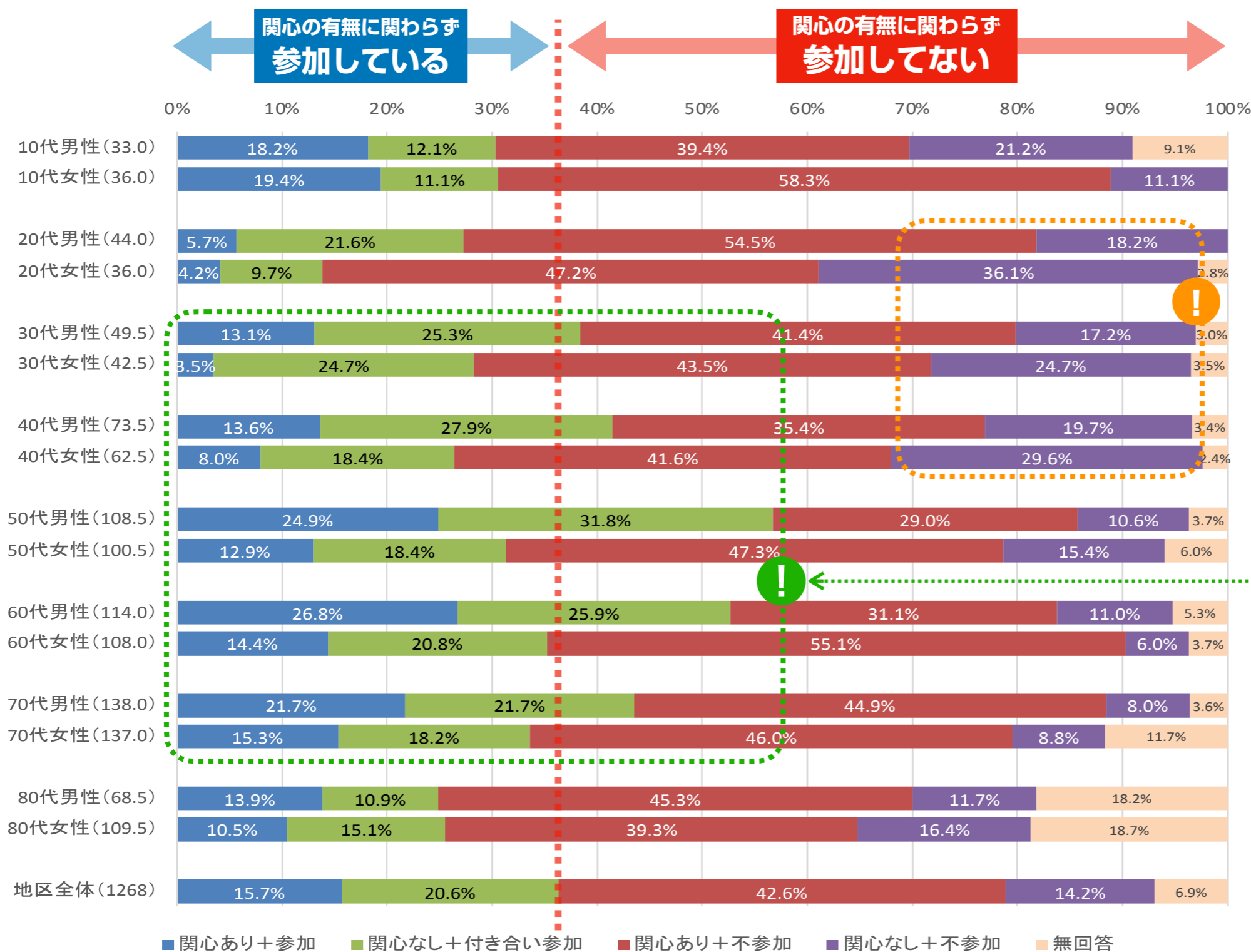
家族の送迎で高齢者の移動手段が賄われている

日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

将来的に送迎する側の人数が減少すると...

地域活動への関心（年齢別・男女別）

村上市塩野町地域（2021）



【注意！】
20～40代は
関心なし+不参加
が2～3割いる

現状は
30～70代が頑張っている
 ので何とか回っている。

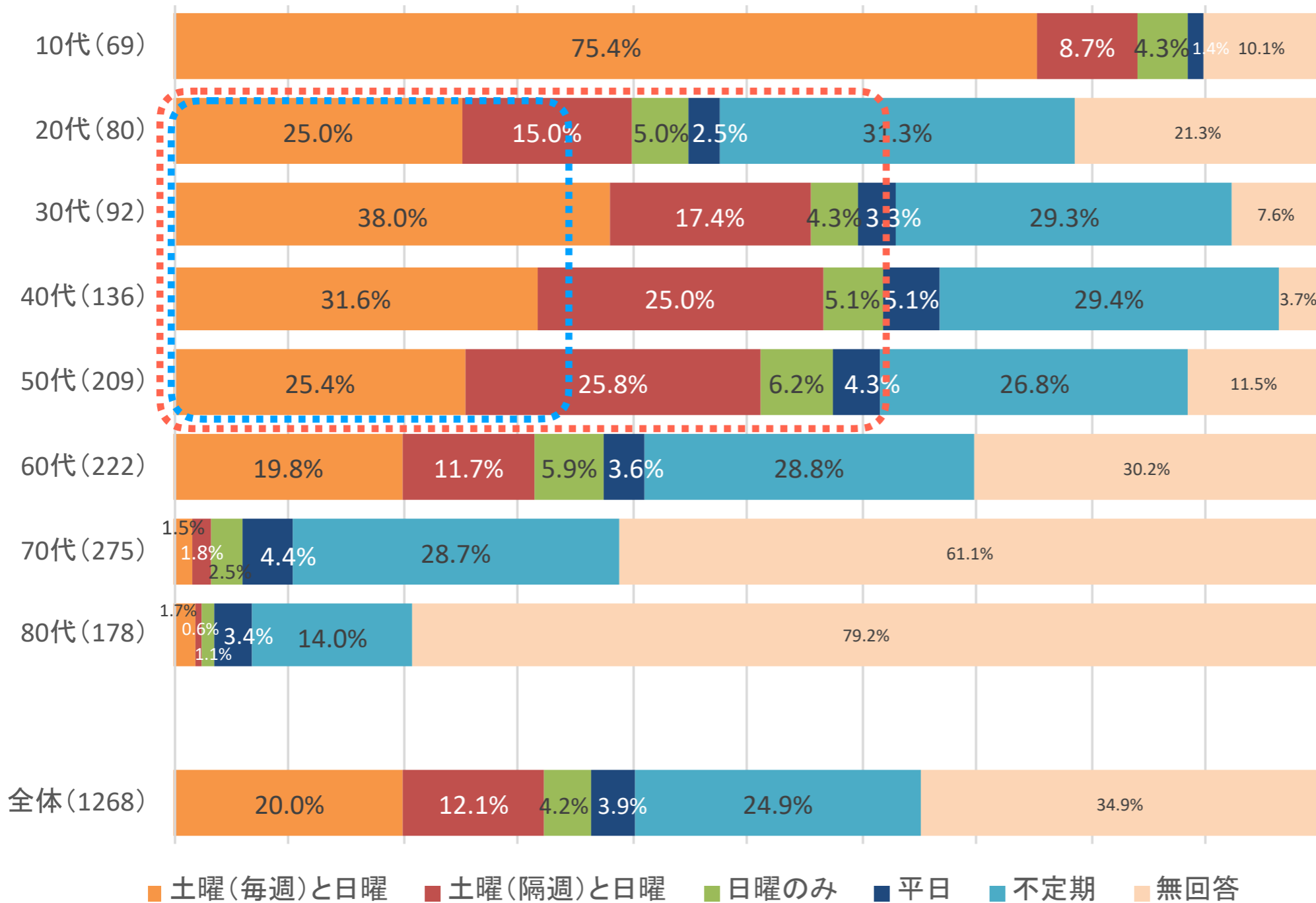
50代以下でも
関心あり+不参加が
3～5割いる

必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない。
女性は「関心があっても参加していない」割合が男性に比べて高い。

休日はいづか？（年代別）

村上市塩野町地域（2021）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



20~50代
 土曜日が毎週休み
3割前後

日曜日が毎週休み
6割

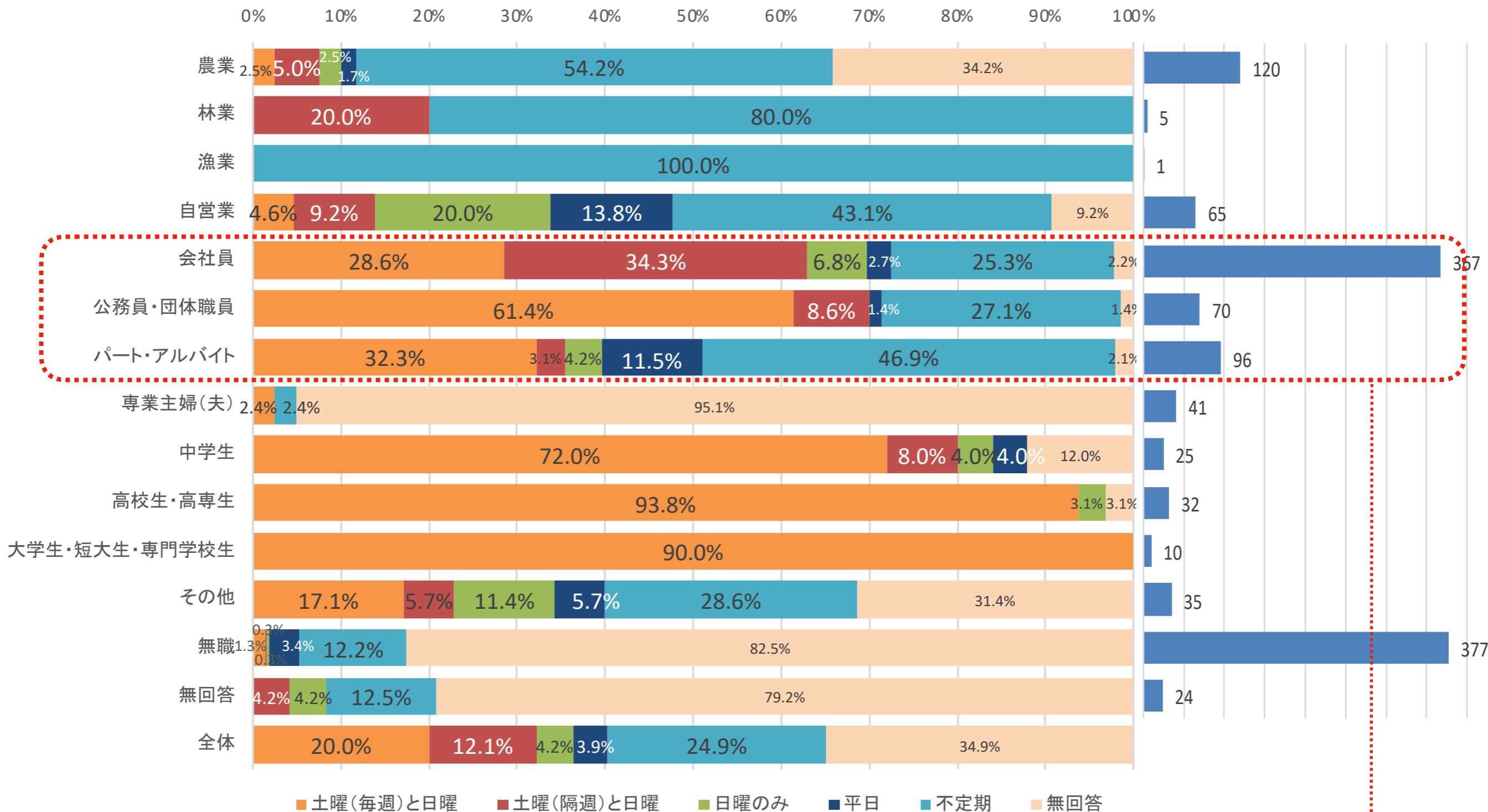
休みが平日・不定期
3割

20~50代は必ずしも土日は休みではない

この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要！

休日はいづか？（職業別）

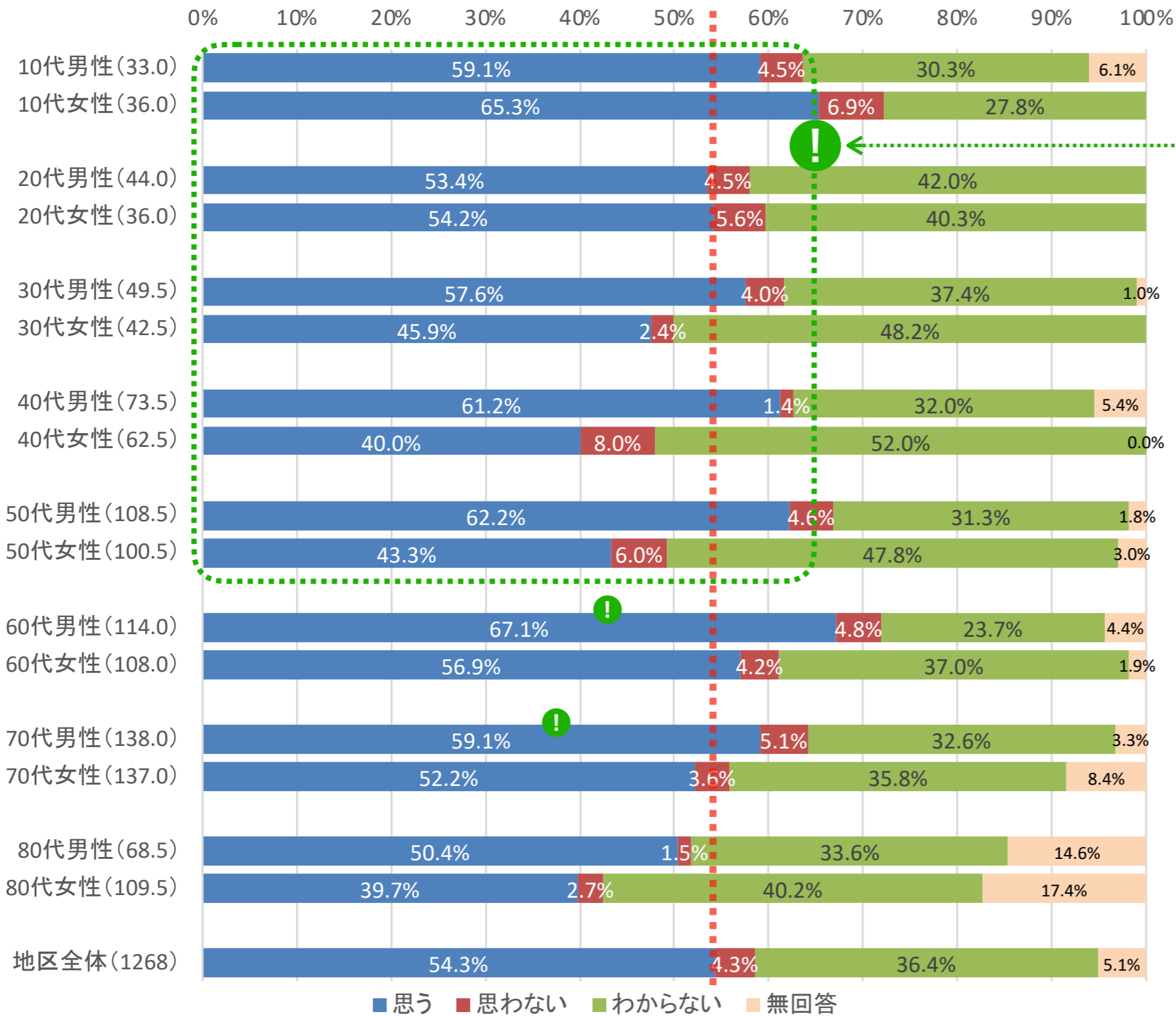
村上市塩野町地域（2021）



勤め人であっても土曜日が休みであるとは限らない。

パート・アルバイトの半数以上が週末は休みではない

女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別) 村上市塩野町地域 (2021)



10代及び
30～50代男性は
6割が必要と回答
20代も地域平均と同じ割合

+

60～70代男性も
7割が必要と回答

||

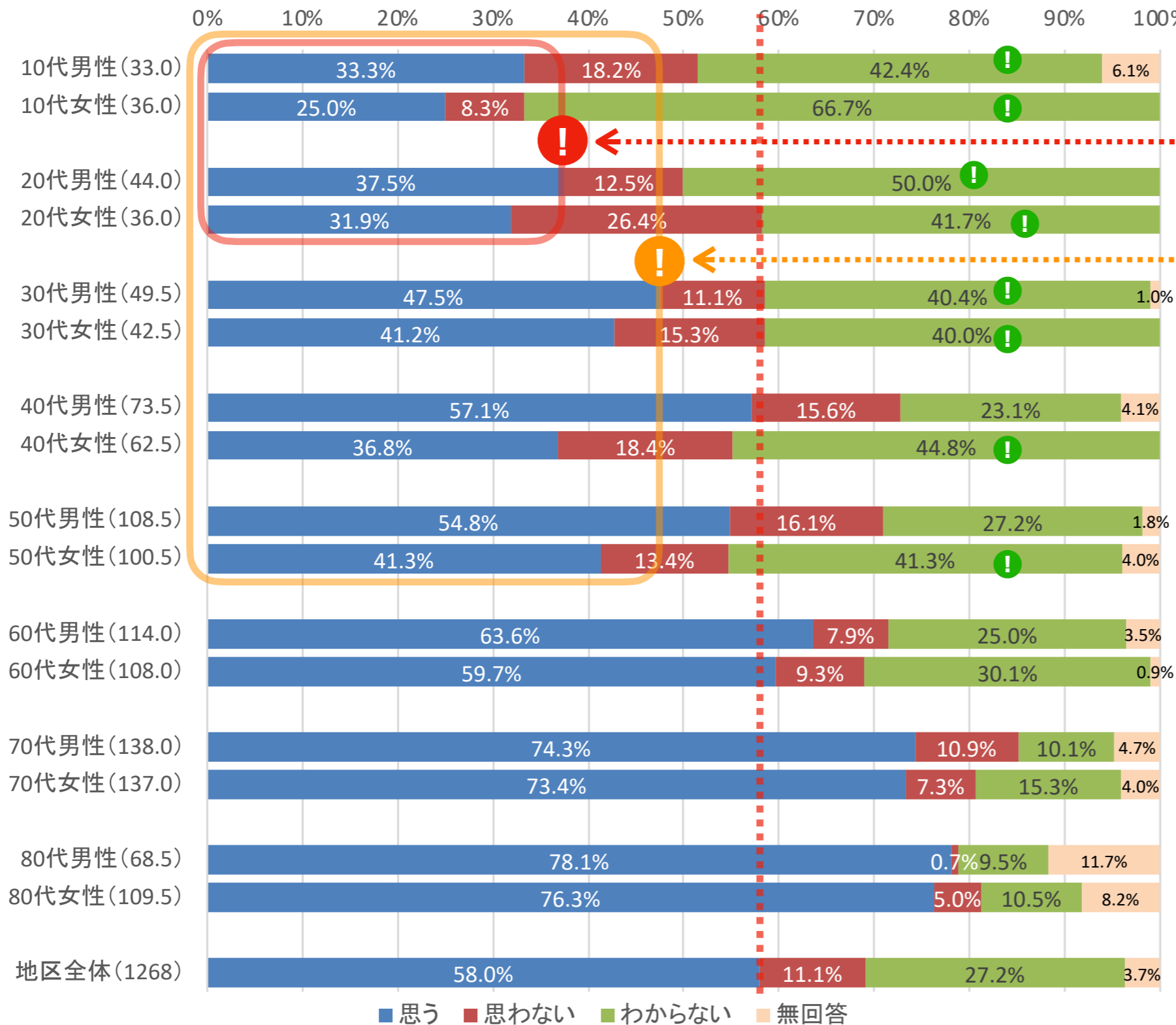
お互いにその気はある！



声を反映させる機会の
充足・工夫が
求められている！

地域全体では、半数以上が「必要」と回答。

この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別) 村上市塩野町地域 (2021)



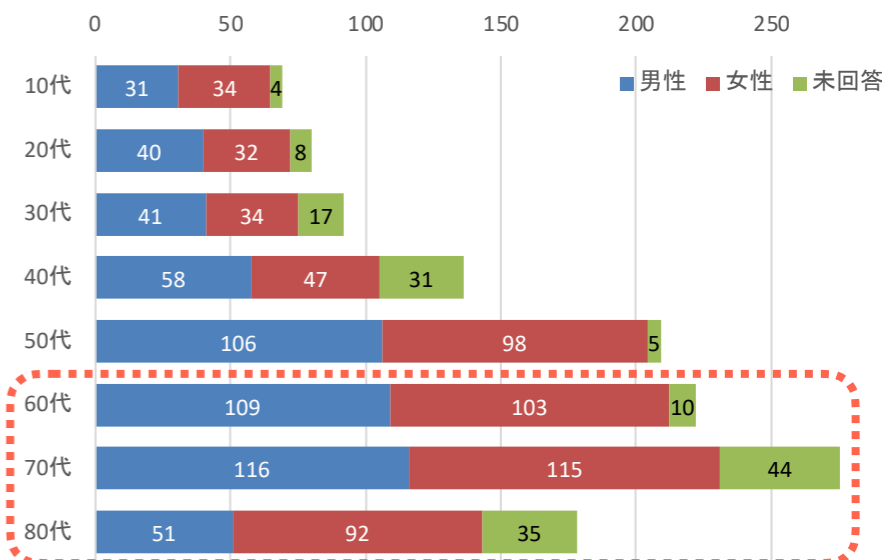
10~20代は3割前後

30代/40代女性/50代女性も地域平均以下

ただし...

4~6割がわからないと回答

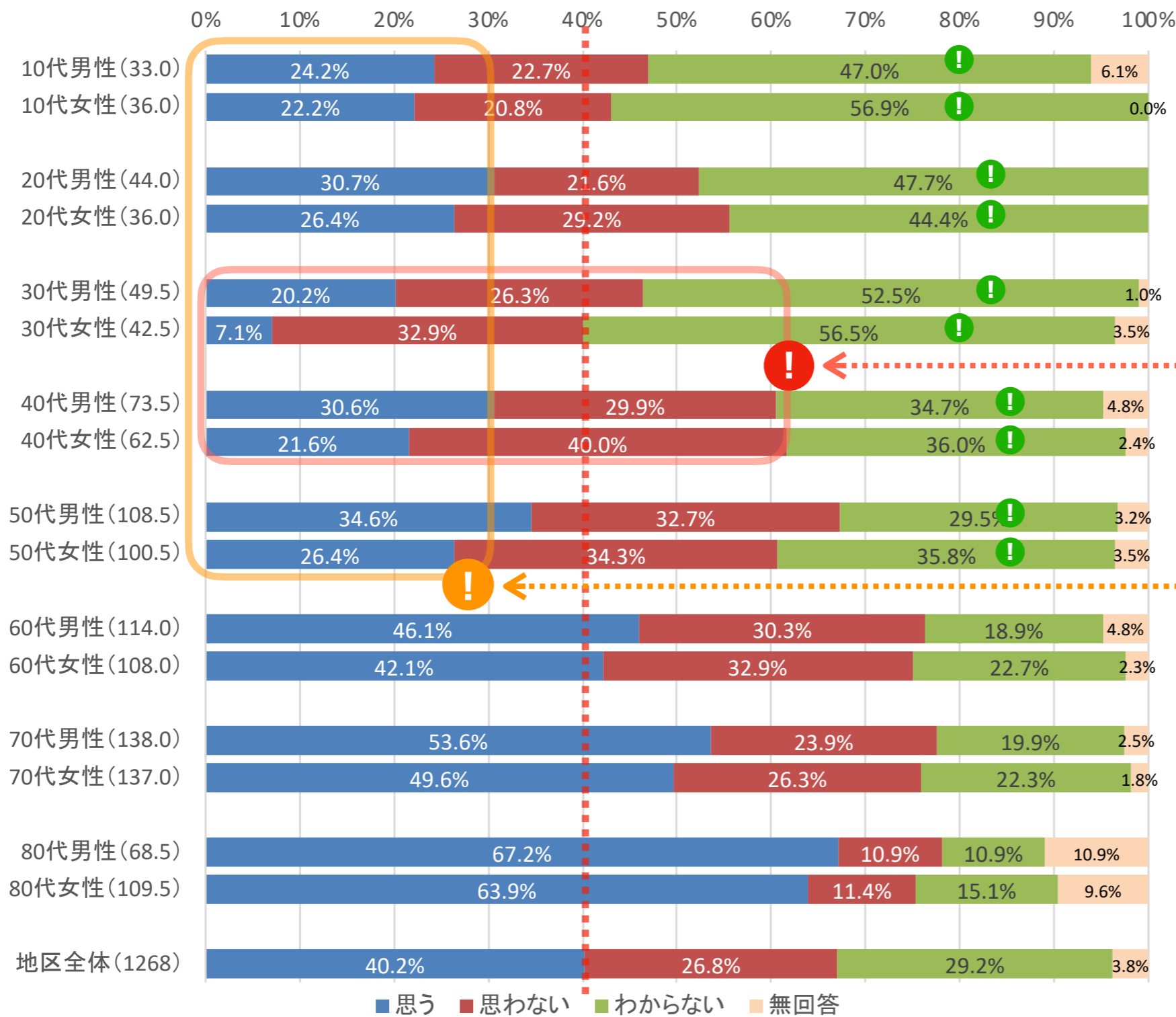
これからの取り組み次第!



多数派の意見が色濃く反映された結果

地域全体では「住み続けたいと思う」は約6割

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)



30~40代は、
住み続けてほしい
とは思わない
の割合の方が高い！

50代以下は
住み続けてほしいが
地区平均以下



3~5割がわからない

||
これからの取り組み次第！

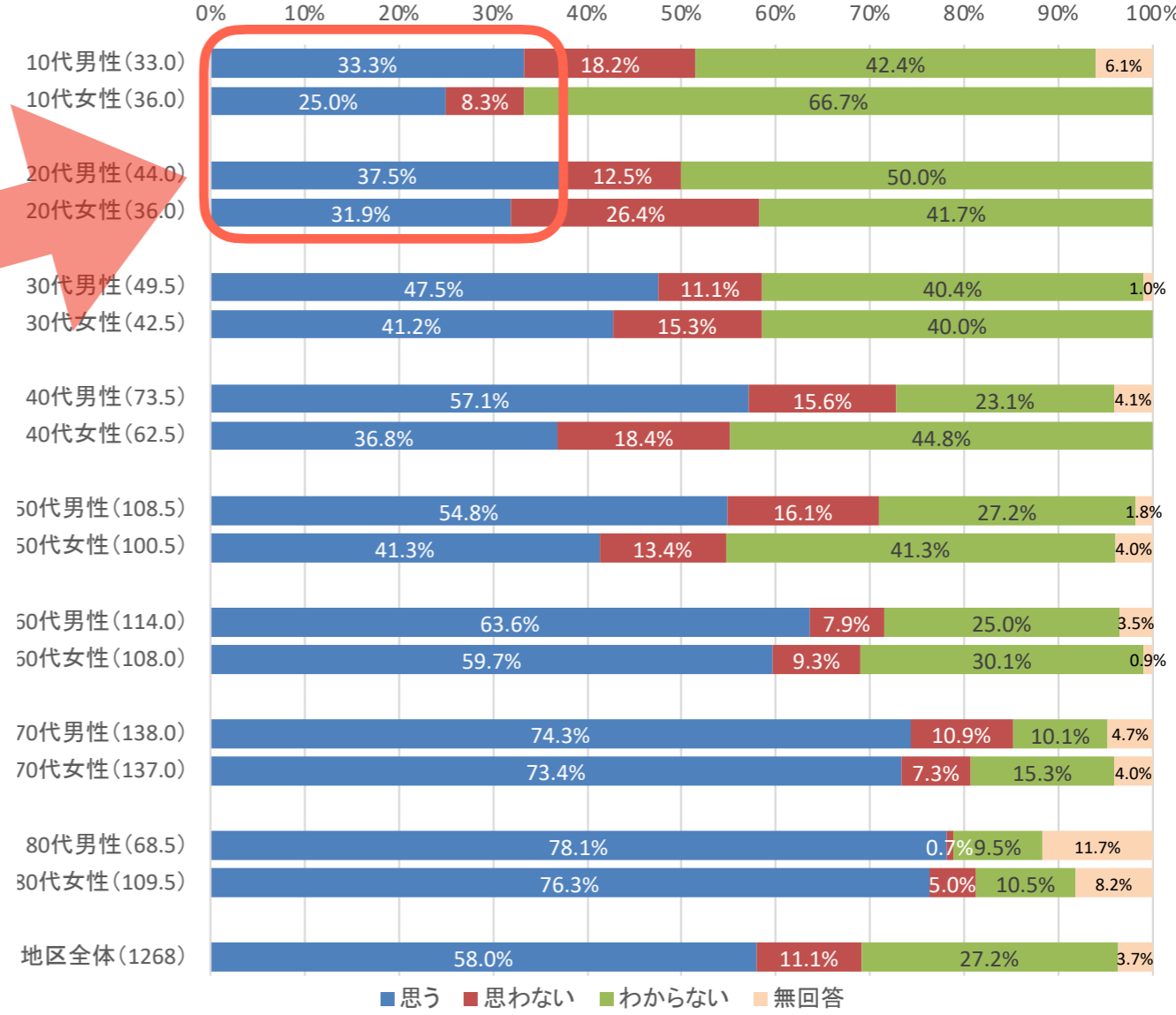
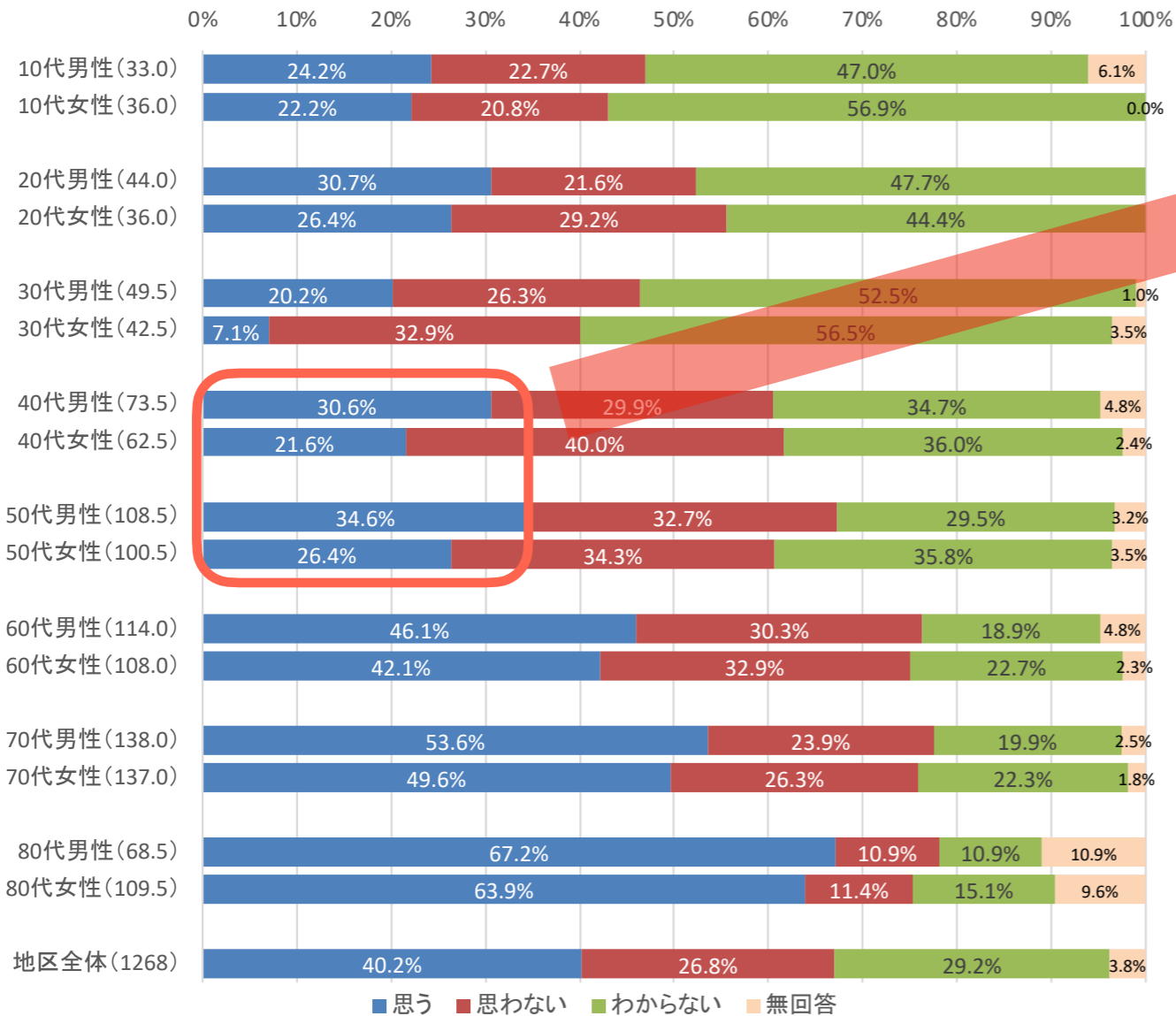
地域全体では「住み続けてほしい」は4割

親世代 (40~50代) は
「住み続けてほしい」の割合が地区平均以下

子ども世代 (10~20代) は
「住み続けたい」の割合が地区平均の半分以下

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)

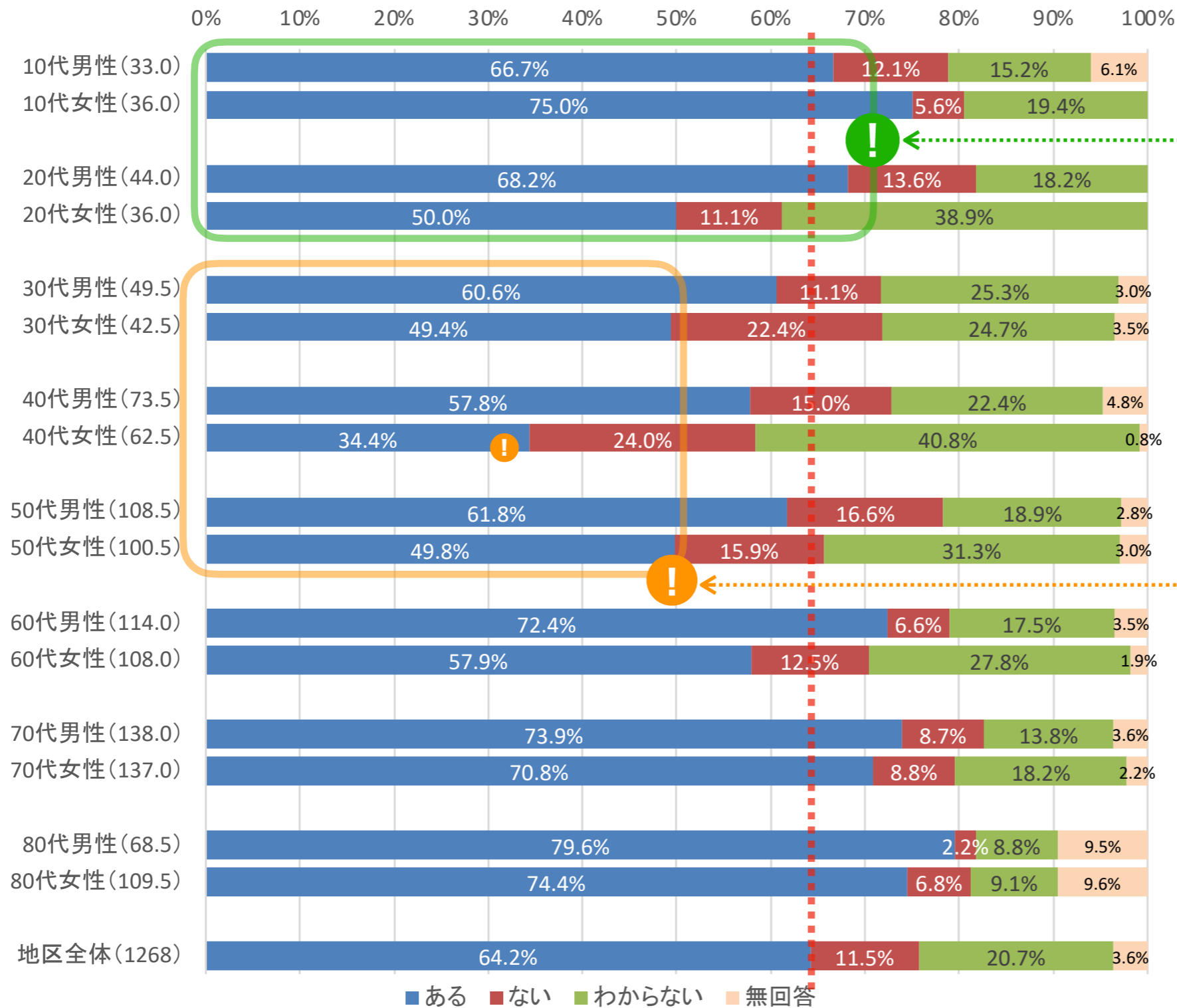
この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別)



親世代の意向が、子世代に影響していませんか!?

地域への愛着の有無 (年代別×男女別)

村上市塩野町地域 (2021)



10~20代は
5~7割が愛着がある

愛着はあっても
定住意向が低い
のは...

将来への希望・
安心感が足りない!?

30~50代は
全体平均より若干低い

※40代女性の愛着度が低い。その
要因は何か？

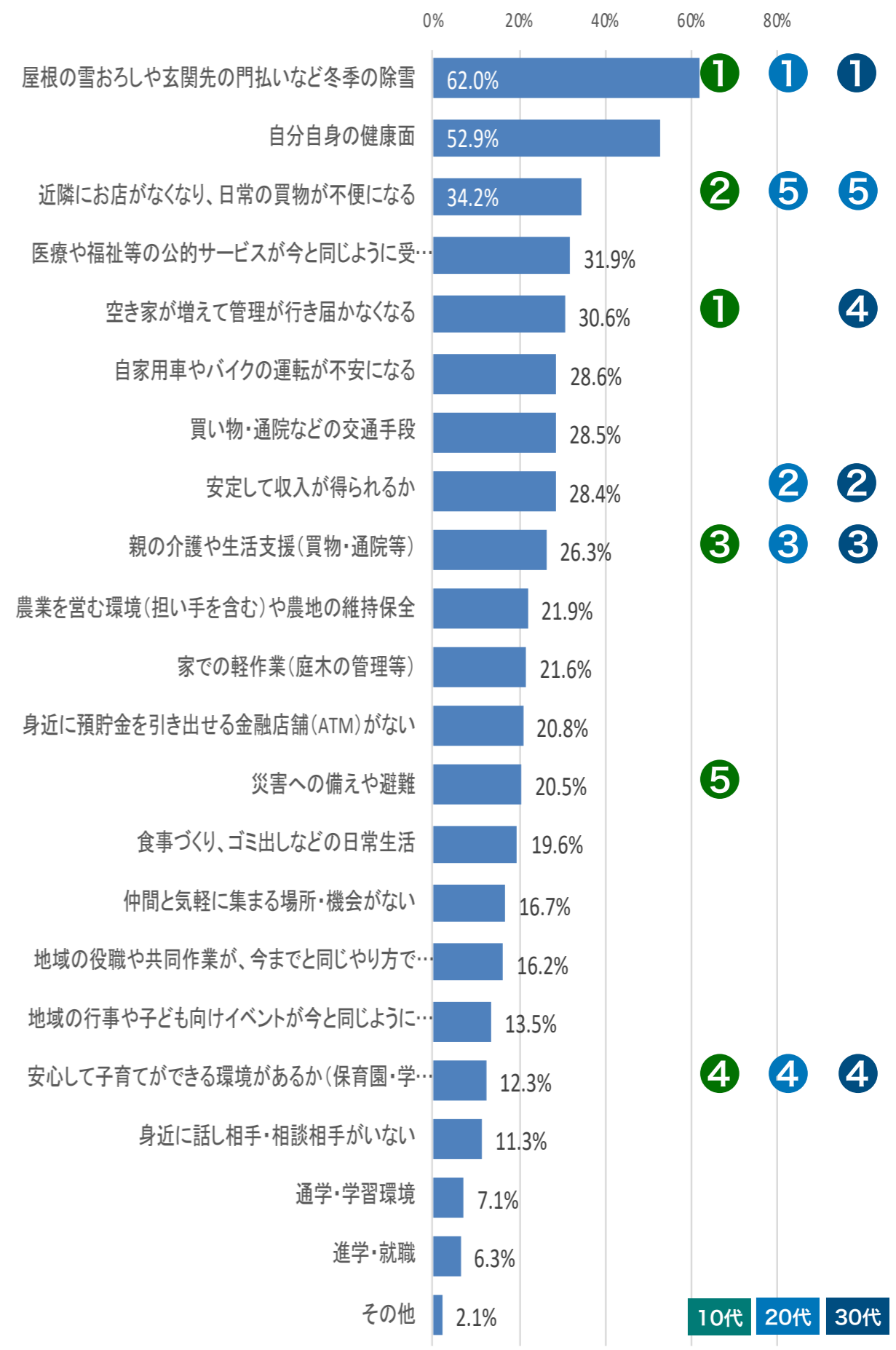
地域全体では「愛着がある」が6割以上

10年後の心配ごと (複数回答)

10代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと 空き家が増えて管理が行き届かなくなること	27.5%
2	近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること	26.1%
3	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと	23.2%
4	安心して子育てができる環境があるか(保育園・学校/ 親同士の交流等)	21.7%
5	災害への備えや避難に関すること	20.3%

20代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	43.8%
2	安定して収入が得られるか	41.3%
3	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと	31.3%
4	安心して子育てができる環境があるか(保育園・学校/ 親同士の交流等)	28.8%
5	近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること	20.0%

30代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	50.0%
2	安定して収入が得られるか	45.7%
3	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと	43.5%
4	空き家が増えて管理が行き届かなくなること 安心して子育てができる環境があるか(保育園・学 校／親同士の交流等)	37.0%
5	近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること	30.4%



地域全体 (複数回答)

10年後の心配ごと (複数回答)

40代

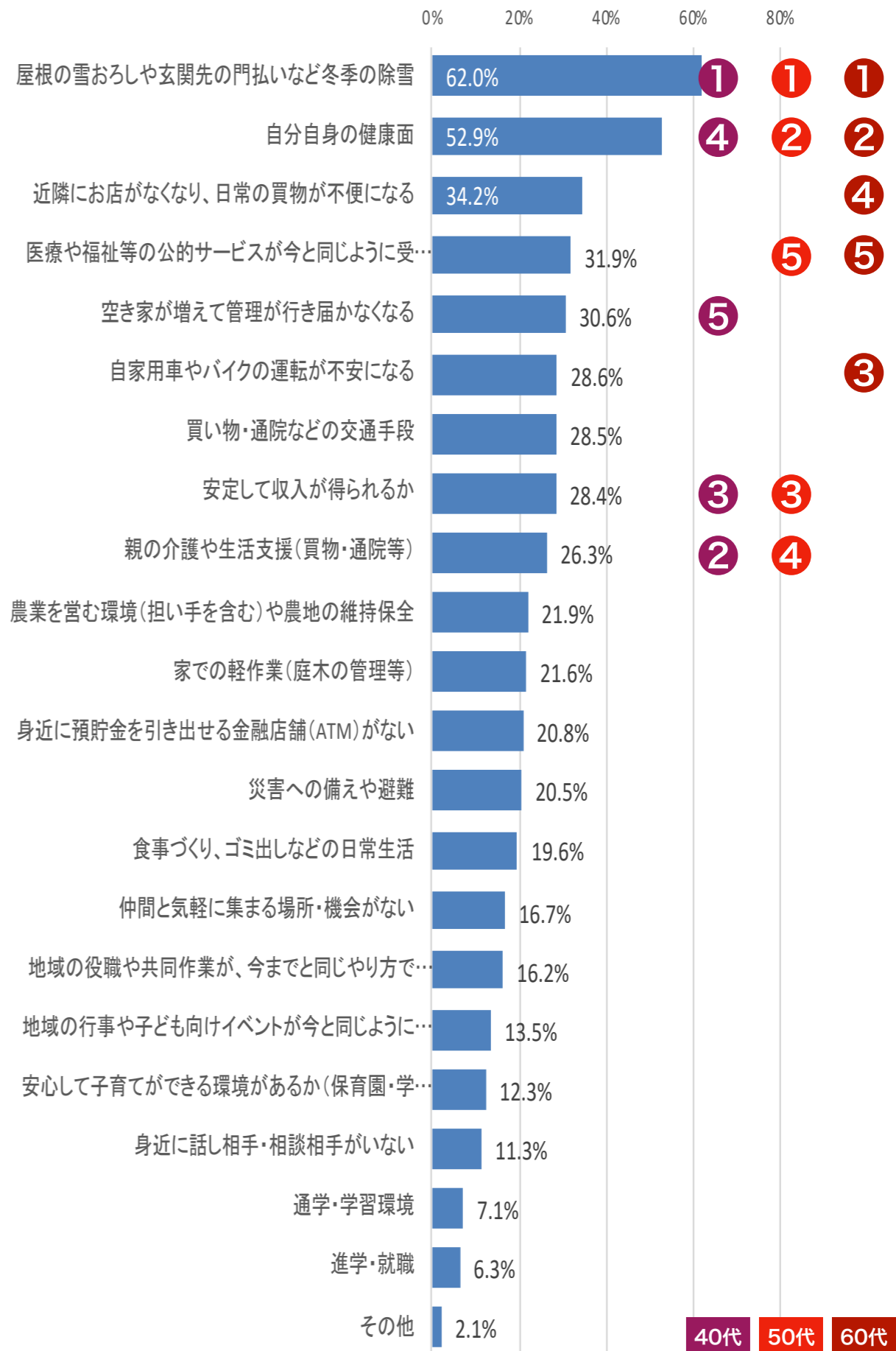
40代	
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと 61.0%
2	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと 48.5%
3	安定して収入が得られるか 41.2%
4	自分自身の健康面のこと 34.6%
5	空き家が増えて管理が行き届かなくなること 29.4%

50代

50代	
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと 66.0%
2	自分自身の健康面のこと 56.9%
3	安定して収入が得られるか 45.9%
4	親の介護や生活支援(買物・通院等)のこと 43.1%
5	医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか 30.6%

60代

60代	
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと 71.2%
2	自分自身の健康面のこと 67.6%
3	自家用車やバイクの運転が不安になること 43.2%
4	近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること 38.3%
5	医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか 36.5%



地域全体 (複数回答)

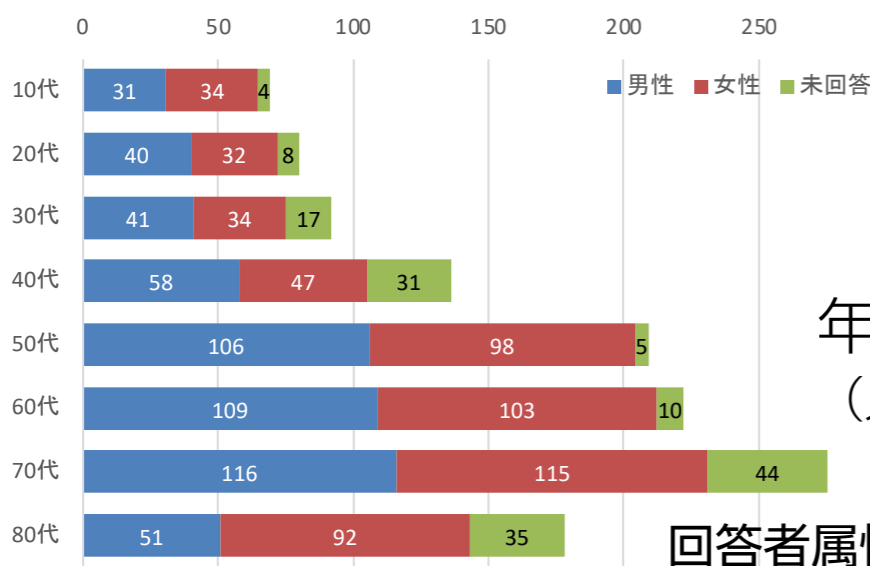
10年後の心配ごと (複数回答)

70代

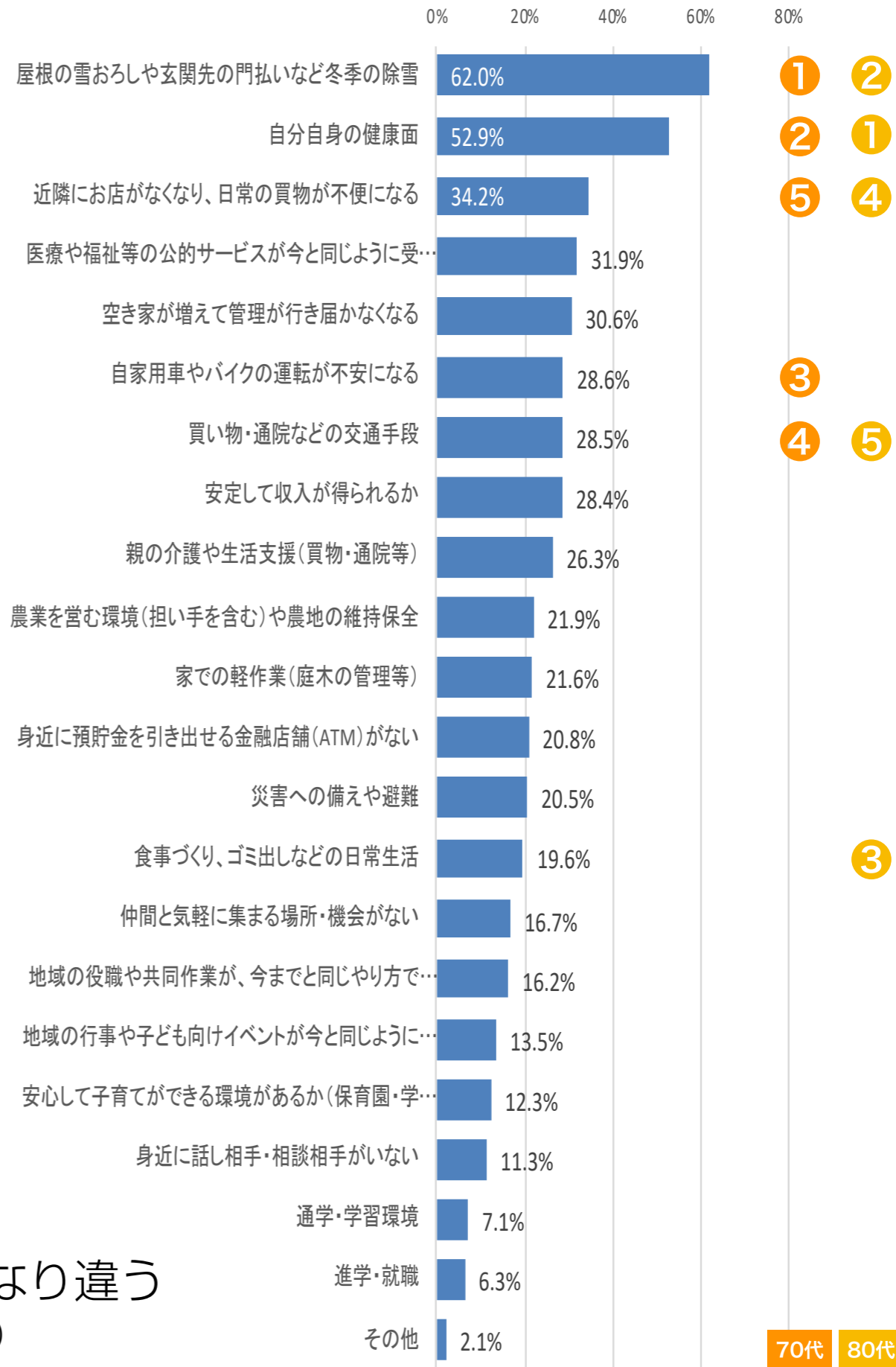
70代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	74.2%
2	自分自身の健康面のこと	66.2%
3	自家用車やバイクの運転が不安になること	52.4%
4	買い物・通院などの交通手段に関すること	46.2%
5	近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること	44.4%

80代

80代		
1	自分自身の健康面のこと	68.0%
2	屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪のこと	55.1%
3	食事づくり、ゴミ出しなどの日常生活のこと	41.0%
4	近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること	40.4%
5	買い物・通院などの交通手段に関すること	39.3%



年代によって順番はかなり違う
(人数の少ない若年層は特に)



地域全体 (複数回答)

70代 80代

10年後の不安・心配ごと (まとめ)

村上市塩野町地域 (2021)

第1位 屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪 62.0%

大半の世代で上位にランクイン (10~70代ではトップ)

→若い世代でも除雪を気に掛けている / 60代以下は担い手不足への懸念?

第2位 自身の健康面 52.9%

40代以上で上位にランクイン (80代以上ではトップ・50~70代で第2位)

→40代から健康面が気になる

第3位 近隣にお店がなくなり、日常の買物が不便になること 34.2%

40~50代以外で上位にランクイン

→60代以上は車を運転できなくなった時への不安?

第4位 医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか 30.6%

50代~60代で上位にランクイン → 今のままでは安心できない?

第5位 空き家が増えて管理が行き届かなくなること 28.6%

10代・30代~40代で上位にランクイン →隣近所が空き家になることへの不安?

10年後の不安・心配ごと (まとめ)

村上市塩野町地域 (2021)

全体での順位は
高くはないが、
高齢世代
特有の困りごと

第6位 自家用車やバイクの運転が不安 28.6%

【60～70代】第3位 →交通弱者予備軍という認識を持っている

第7位 買い物・通院などの交通手段 28.5%

【70代】第4位 【80代】第5位 →送迎で賄われている現状への不安の現れ

第14位 食事づくり、ゴミ出しなどの日常生活 19.6%

【80代】第3位 →日常生活でのちょっとした手助けの必要性がさらに増す

第8位 安定して収入が得られるか 28.4%

【20～30代】第2位 【40～50代】第3位

→現役世代は将来への不安感が大きい

第9位 親の介護や生活支援（買物・通院等）のこと 26.3%

【10～30代】第3位 【40代】第2位 【50代】第4位

→若者・中堅世代にとっては、かなり切実な不安・心配ごと

**第13位 災害への備えや避難に関する
こと 20.5%**

【10代】第5位

**第18位 安心して子育てができる
環境があるか 12.3%**

【10～30代】第4位

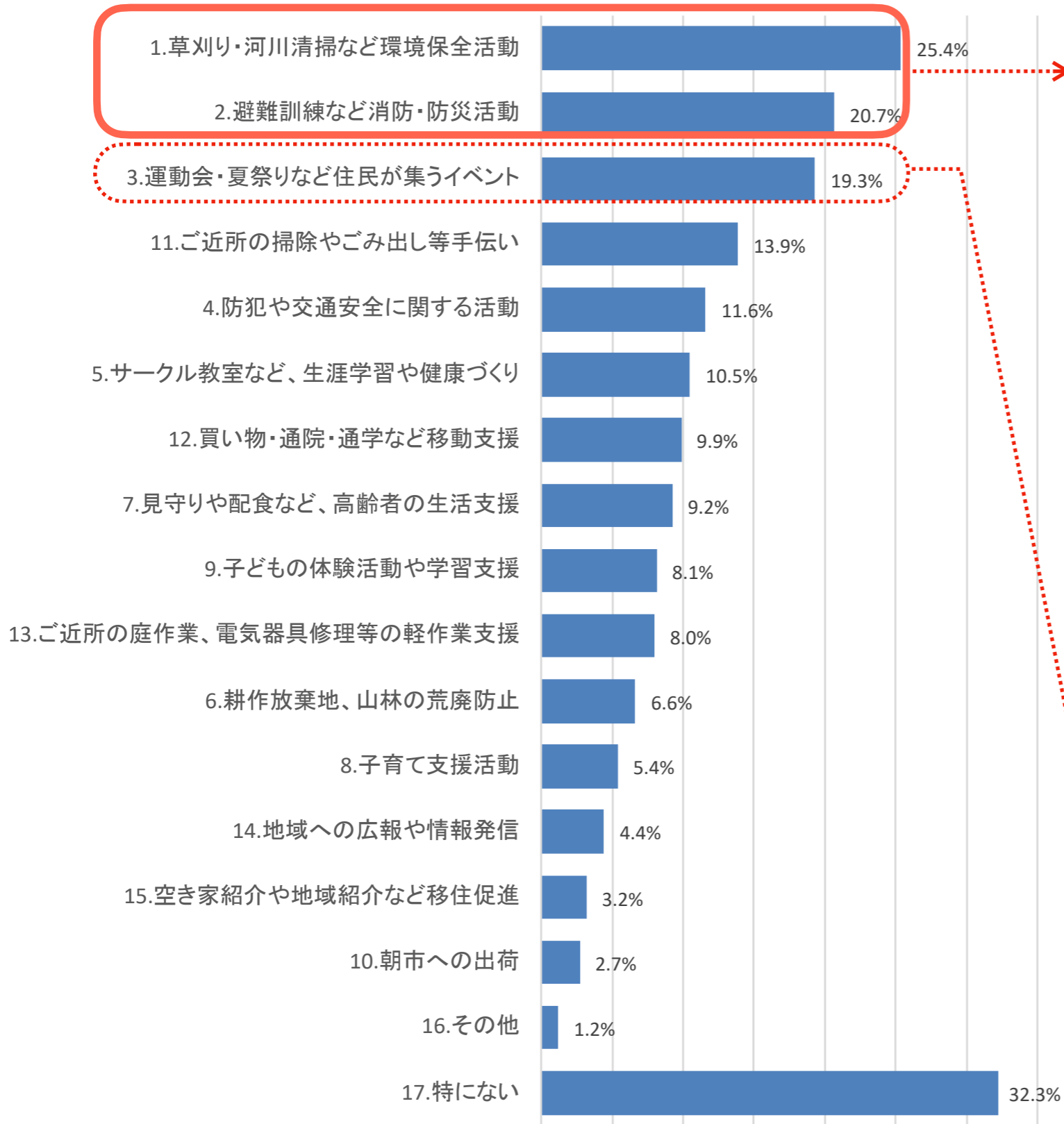
全体での順位は
高くはないが、
**若年・中堅
世代**

特有の困りごと

やってみたい・協力できること

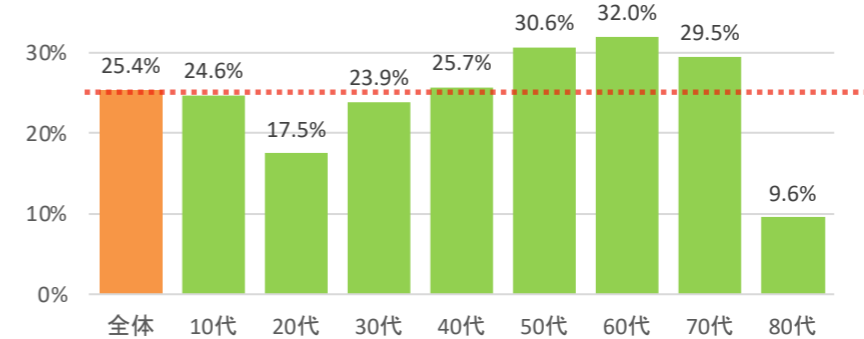
村上市塩野町地域（2021）

0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35%

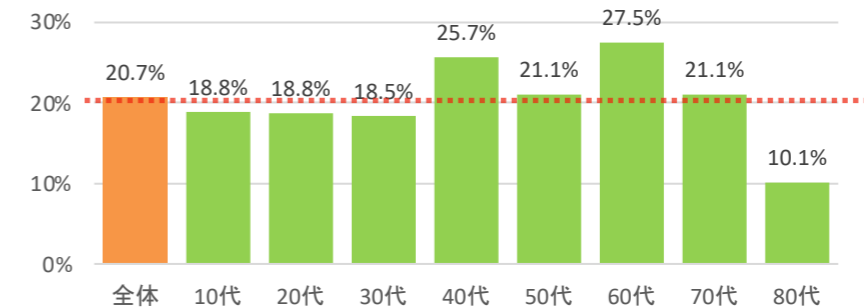


草刈り・河川清掃と消防・防災活動は2割以上が協力できる

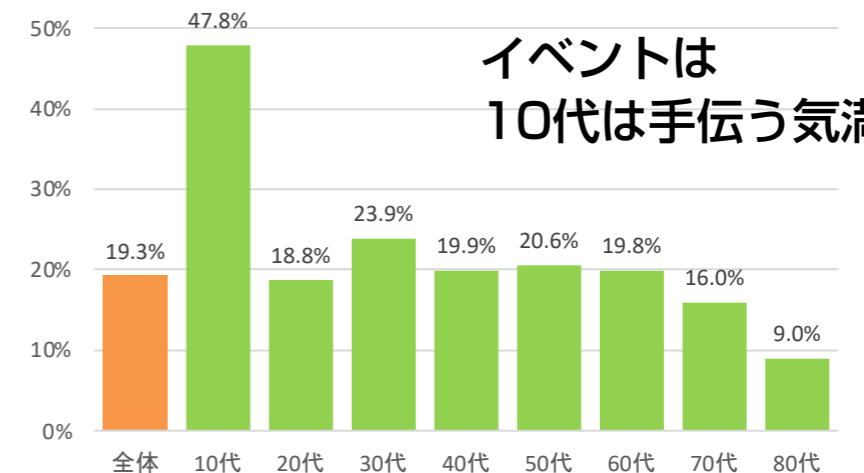
草刈り・河川清掃など環境保全活動（年代別集計）



避難訓練など消防・防災活動（年代別集計）



運動会・夏祭りなど住民が集うイベント（年代別集計）



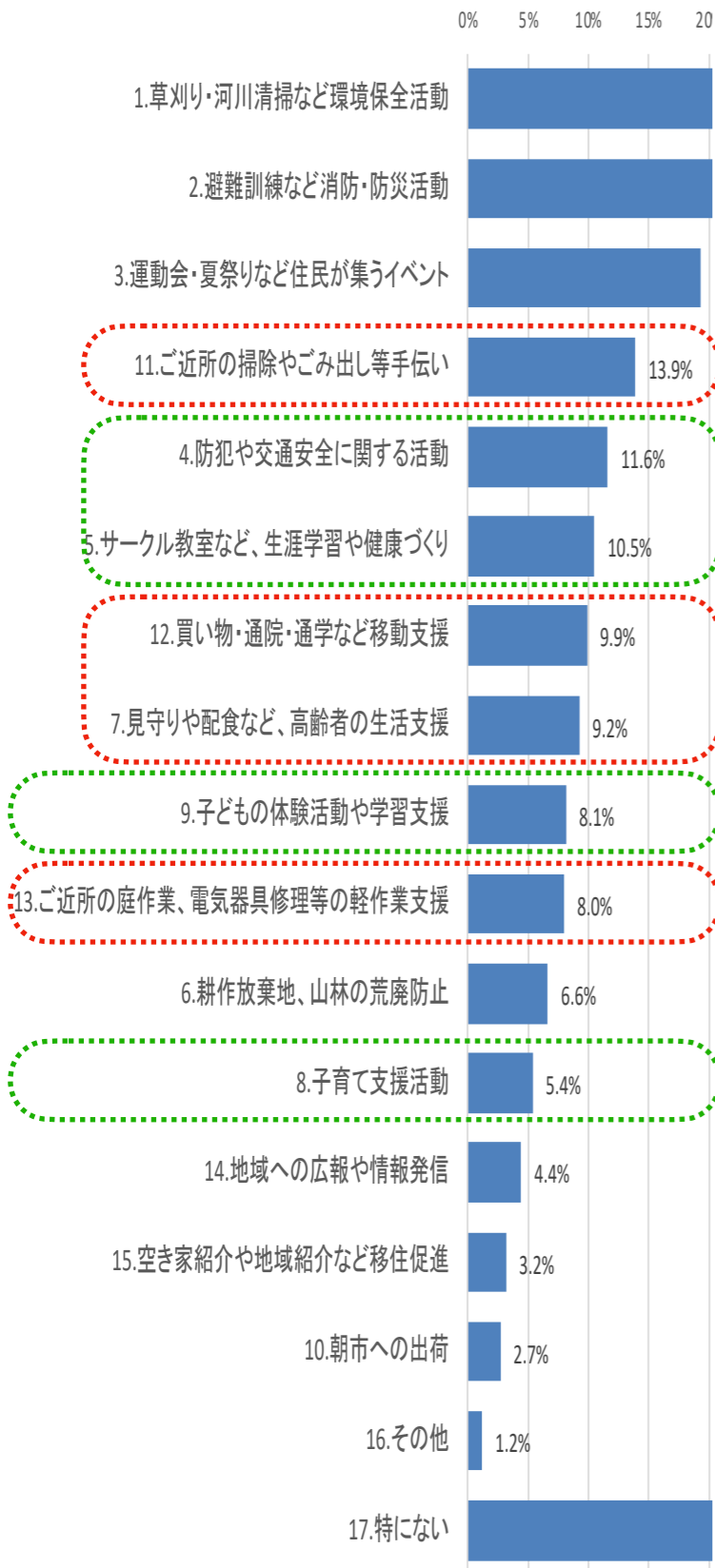
この2つは幅広い年代層の協力が見られる

イベントは10代は手伝う気満々!?

地域全体（複数回答）

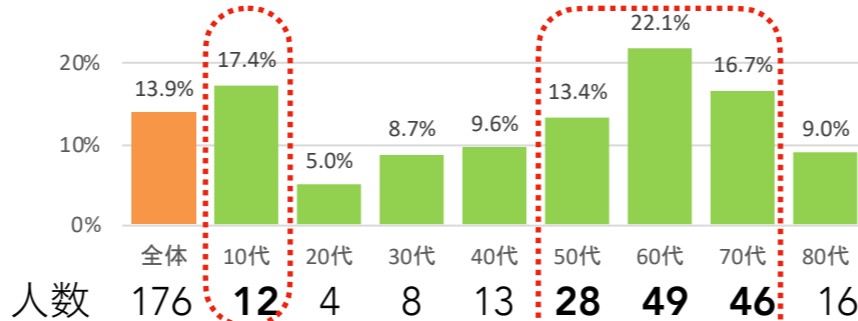
やってみたい・協力できること

村上市塩野町地域（2021）

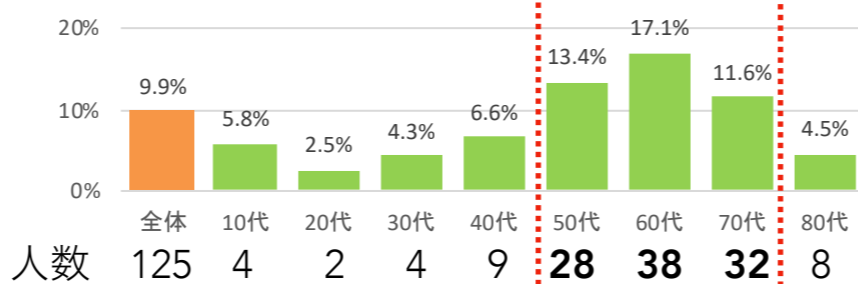


地域全体（複数回答）

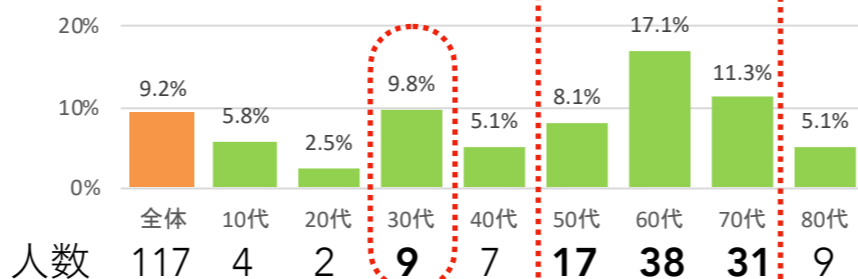
ご近所の掃除やごみ出し等手伝い



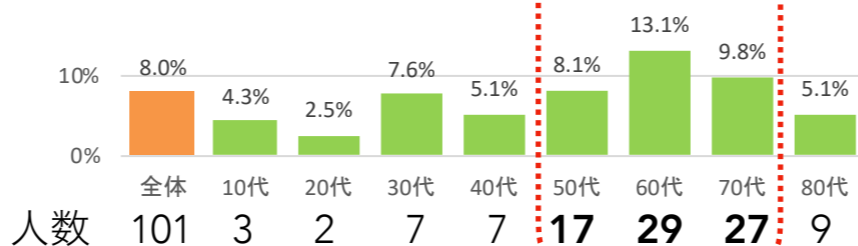
買い物・通院・通学など移動支援



見守りや配食など、高齢者の生活支援

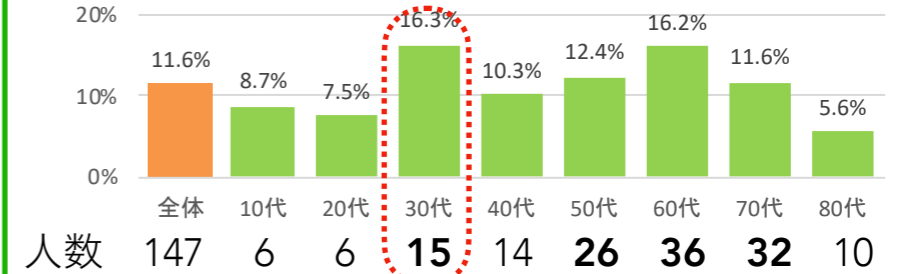


ご近所の庭作業、電気器具修理等の軽作業支援

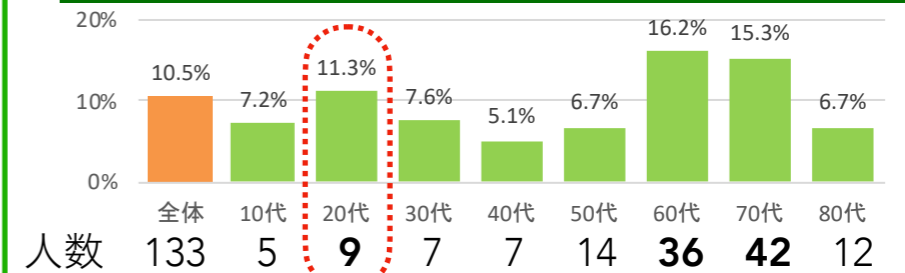


ささえあい活動に
協力できる人は一定数いる

防犯や交通安全に関する活動



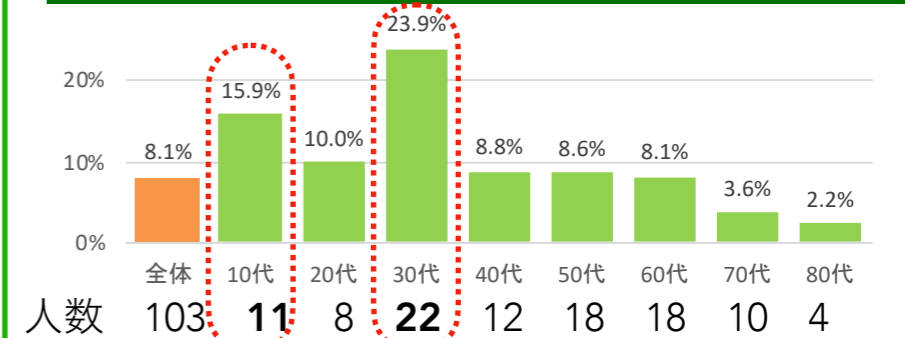
サークル教室など、生涯学習や健康づくり



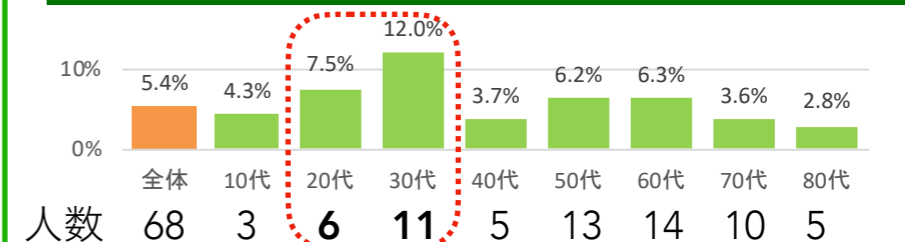
20～30代も関心あり

30代以下は積極姿勢

子どもの体験活動や学習支援（年代別集計）

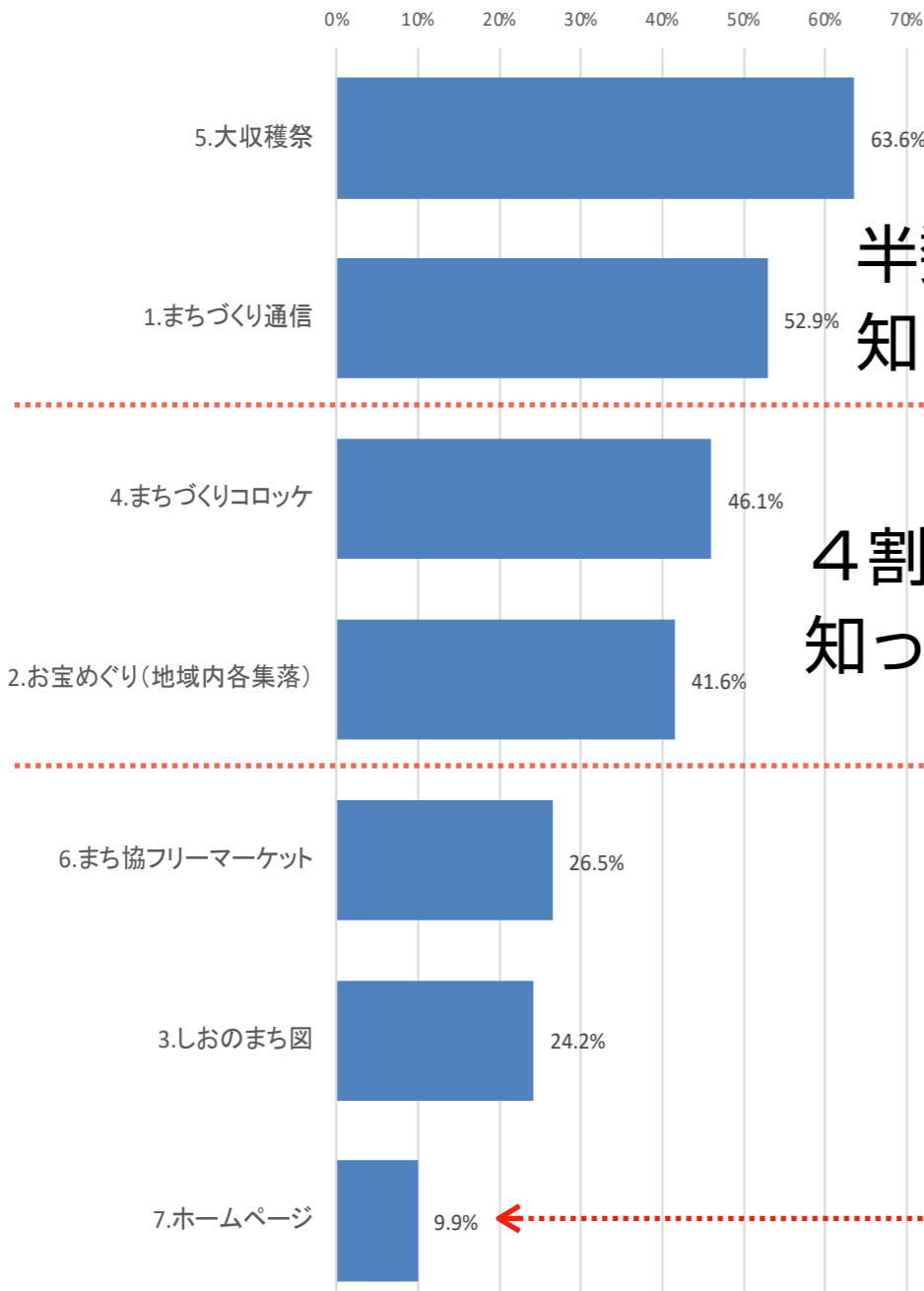


子育て支援活動（年代別集計）



まちづくり協議会事業の認知度

村上市塩野町地域（2021）



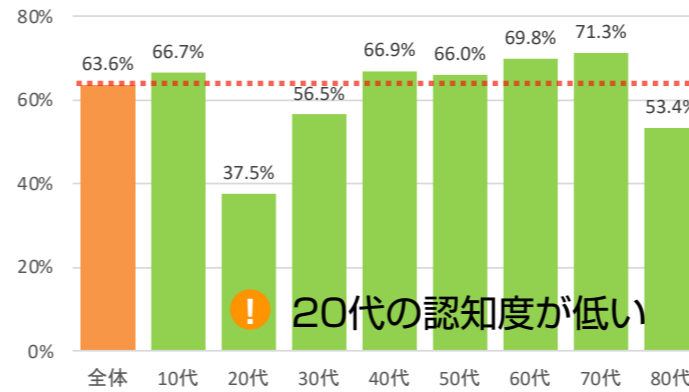
半数以上が知っている

4割以上が知っている

地域全体（複数回答）

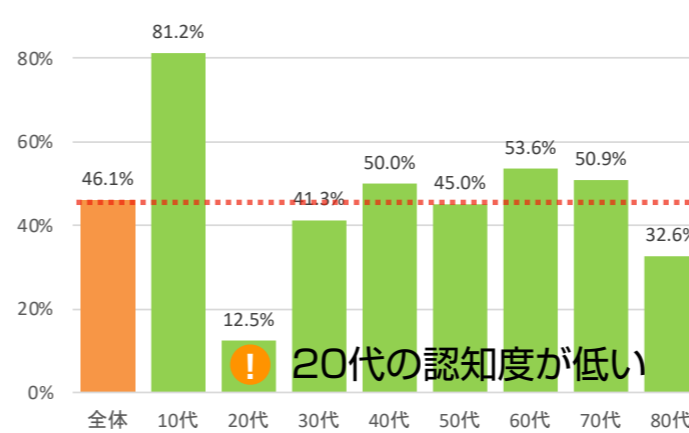
ますます認知されている

大収穫祭の認知度



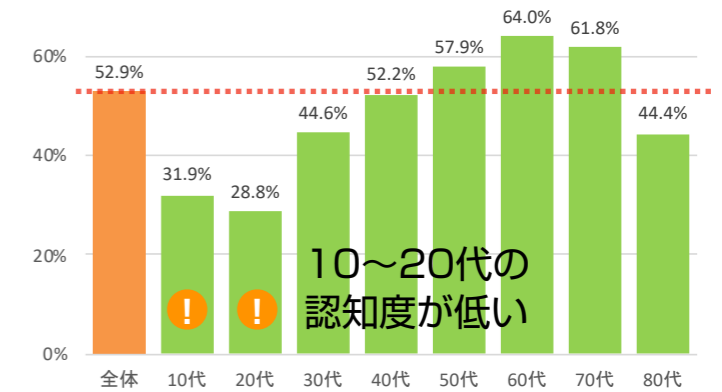
20代の認知度が低い

まちづくりコロッケの認知度



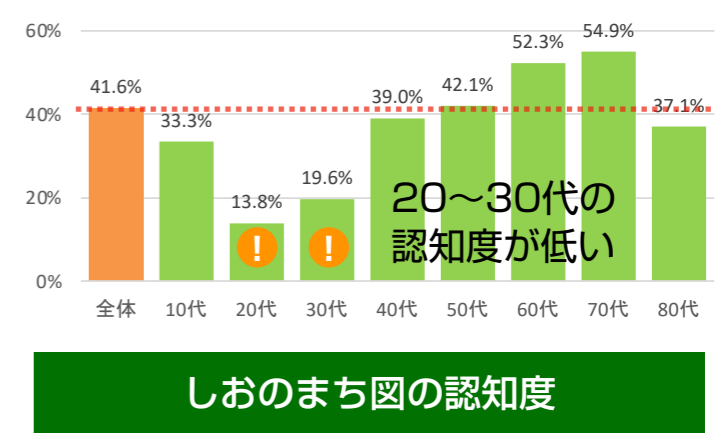
20代の認知度が低い

まちづくり通信の認知度



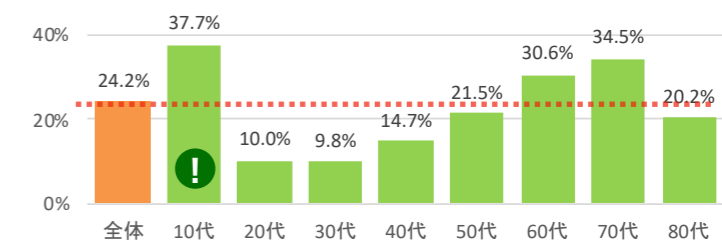
10~20代の認知度が低い

お宝めぐり（地域内各集落）の認知度

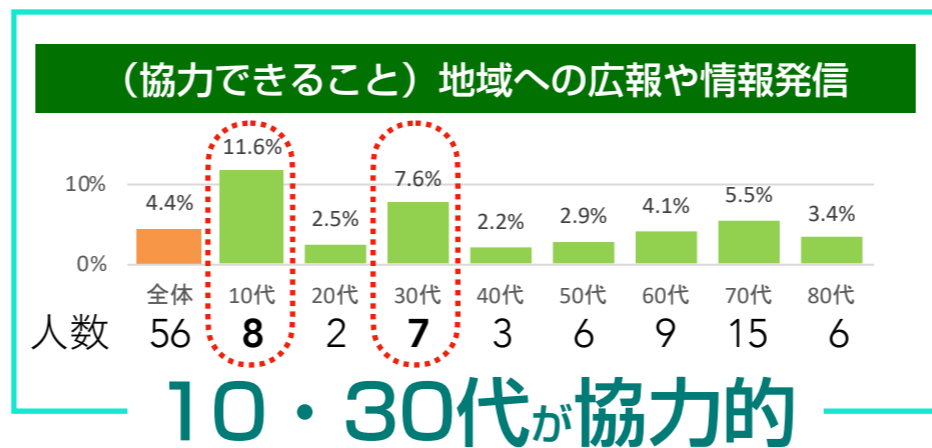


20~30代の認知度が低い

しおのまち図の認知度

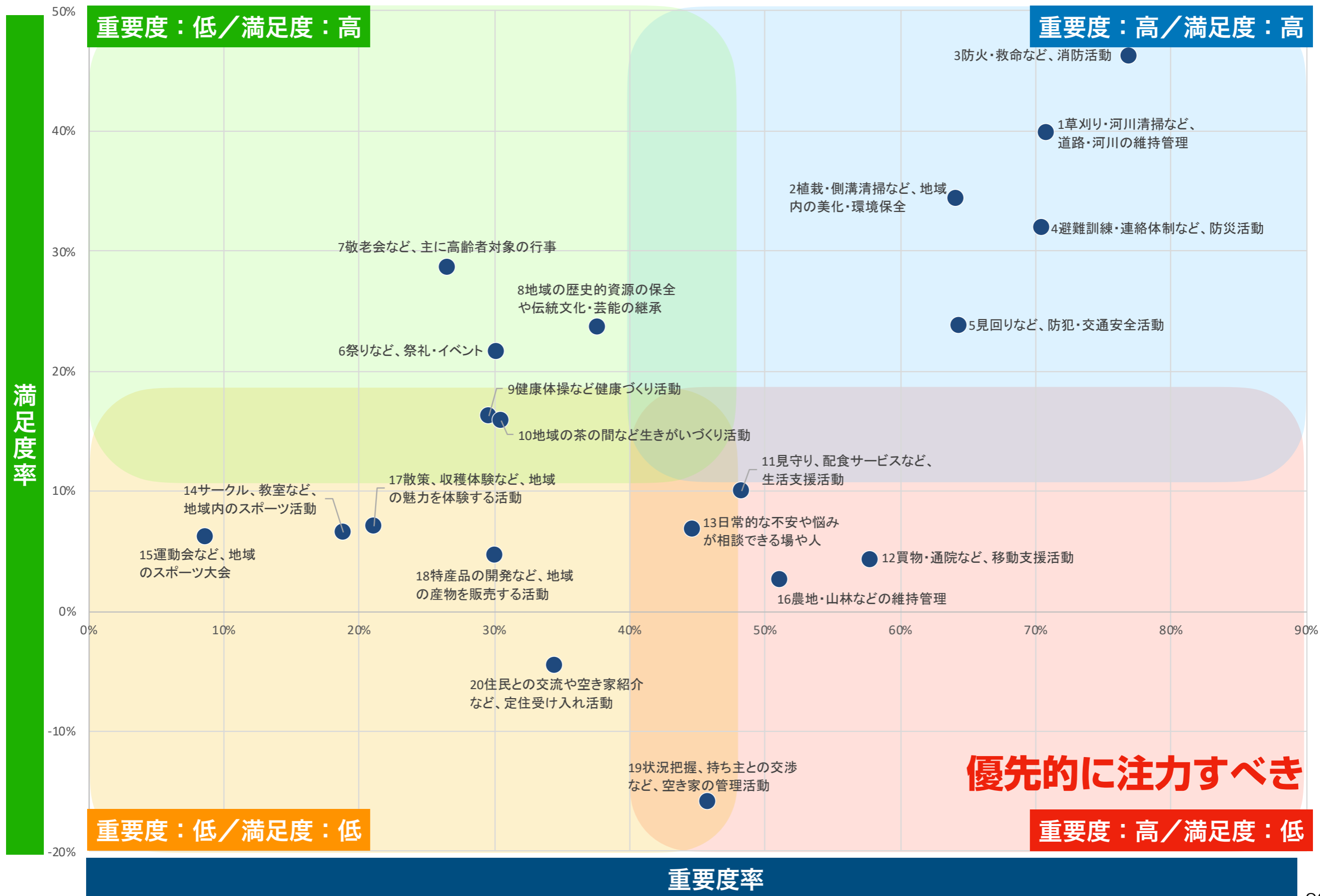


10代の認知度が最も高い！



取り組みの満足度と重要度

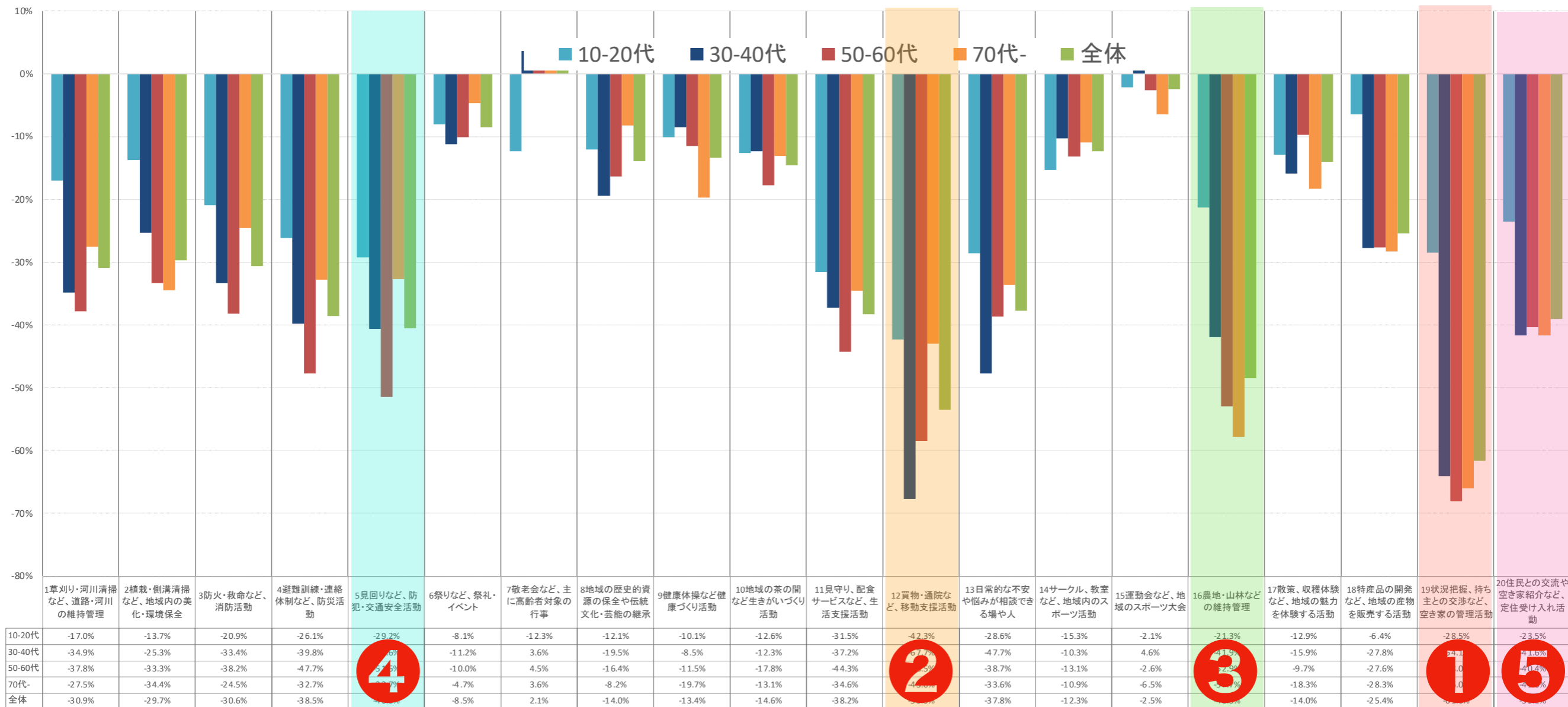
村上市塩野町地域（2021）



取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

村上市塩野町地域（2021）

※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目



1 状況把握、持ち主との交渉など**空家の管理**活動

2 買物・通院など、**移動支援**活動

3 農地・山林など**維持管理**

4 見回りなど、**防犯・交通安全**活動

5 住民との交流や**空き家紹介**など**定住受け入れ**活動

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている上位5つ

取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

村上市塩野町地域（2021）

これからの地域づくりで大切だと思っっているテーマ・年代別ランキング

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
1	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -61.6%	買物・通院など、移動支援活動 -42.3%	買物・通院など、移動支援活動 -67.7%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -68.0%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -66.0%
2	買物・通院など、移動支援活動 -53.5%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -31.5%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -64.1%	買物・通院など、移動支援活動 -58.5%	農地・山林などの維持管理 -57.7%
3	農地・山林などの維持管理 -48.5%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -29.2%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -47.7%	農地・山林などの維持管理 -52.9%	買物・通院など、移動支援活動 -43.0%
4	見回りなど、防犯・交通安全活動 -40.5%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -28.6%	農地・山林などの維持管理 -41.9%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -51.5%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -41.6%
5	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -39.1%	状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -28.5%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -41.6%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -47.7%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -34.6%
6	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -38.5%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -26.1%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -40.6%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -44.3%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -34.4%
7	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -38.2%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -23.5%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -39.8%	住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -40.4%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -33.6%
8	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -37.8%	農地・山林などの維持管理 -21.3%	見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -37.2%	日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -38.7%	避難訓練・連絡体制など、防災活動 -32.7%
9	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -30.9%	防火・救命など、消防活動 -20.9%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -34.9%	防火・救命など、消防活動 -38.2%	見回りなど、防犯・交通安全活動 -32.7%
10	防火・救命など、消防活動 -30.6%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -17.0%	防火・救命など、消防活動 -33.4%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -37.8%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -28.3%
11	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -29.7%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -15.3%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -27.8%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -33.3%	草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -27.5%
12	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -25.4%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -13.7%	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -25.3%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -27.6%	防火・救命など、消防活動 -24.5%
13	地域の茶の間など生きがいきり活動 -14.6%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -12.9%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -19.5%	地域の茶の間など生きがいきり活動 -17.8%	健康体操など健康づくり活動 -19.7%
14	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -14.0%	地域の茶の間など生きがいきり活動 -12.6%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -15.9%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -16.4%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -18.3%
15	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -14.0%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 -12.3%	地域の茶の間など生きがいきり活動 -12.3%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -13.1%	地域の茶の間など生きがいきり活動 -13.1%
16	健康体操など健康づくり活動 -13.4%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -12.1%	祭りなど、祭礼・イベント -11.2%	健康体操など健康づくり活動 -11.5%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -10.9%
17	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -12.3%	健康体操など健康づくり活動 -10.1%	サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -10.3%	祭りなど、祭礼・イベント -10.0%	地域の歴史的資源の保全や伝統文化・芸能の継承 -8.2%
18	祭りなど、祭礼・イベント -8.5%	祭りなど、祭礼・イベント -8.1%	健康体操など健康づくり活動 -8.5%	散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -9.7%	運動会など、地域のスポーツ大会 -6.5%
19	運動会など、地域のスポーツ大会 -2.5%	特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -6.4%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 3.6%	運動会など、地域のスポーツ大会 -2.6%	祭りなど、祭礼・イベント -4.7%
20	敬老会など、主に高齢者対象の行事 2.1%	運動会など、地域のスポーツ大会 -2.1%	運動会など、地域のスポーツ大会 4.6%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 4.5%	敬老会など、主に高齢者対象の行事 3.6%

世代間で極端な違いは見られない

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

①状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動

大半の年代でこの必要性を強く感じている。（30代以上は特に）

②買物・通院など、移動支援活動

大半の年代でこの必要性を強く感じている（30～40代以上は特に）

→送迎される側だけでなく、送迎する側も切実に求めている!?

③農地・山林などの維持管理

50代以上がこの必要性を強く感じている。

④見回りなど、防犯・交通安全活動

30～60代がこの必要性を強く感じている。

⑤住民との交流や空き家紹介など定住受入活動

30代以上がこの必要性を強く感じている。

☑ 60～80代の3割が単身もしくは夫婦のみ世帯

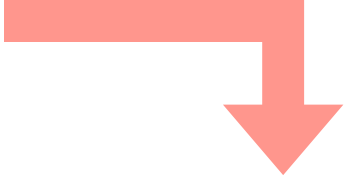
- ▶ 10年後の不安・心配ごととして「食事、ゴミ出しなどの日常生活」が80代のみ上位にランクイン。
- ▶ これから重点的に取り組むべきテーマとして、70代以上は「見守り、配食サービスなどの生活支援」が上位にランクイン。

☑ 送迎する側の人数が減少すると、日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加


- ▶ 80代になると自分で車を運転する人の割合が減少し、送迎が主な移動手段になる。
- ▶ 10年後の不安・心配ごととして、60～70代は「自家用車やバイクの運転が不安」が上位にランクイン。

☑ 環境保全活動・防災活動は、全体で2割の人が協力できると回答。ささえあい活動も若年・中堅世代で協力できる人が一定数いる。

- ▶ 清掃やゴミ出し、移動支援、見守り、軽作業等のささえあい活動については、若年層も含めて協力できるという回答が一定数ある。



高齢者のみ世帯が一定数存在しており、生活支援・移動支援へのニーズは、今後確実に見込まれる。



幅広い年代が参画する取り組み検討の下地はある。

☑ 農業従事者の84.0%が60代以上

- ▶ このままだと20年後には50人（現在の4割以下）

将来的な農地の維持
管理は大丈夫か？

☑ 必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではないではない。

- ▶ すべての年代で「関心あり＋不参加」が3～5割おり、特に女性は「関心があっても参加していない」割合が男性に比べて高い。

既存のやり方を再点検し、多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性があるのでは？

☑ 20～50代で土曜日が毎週休日であるのは3割前後。日曜日が毎週休日なのは6割前後という状況。

- ▶ 働いている世代は、必ずしも土曜日が休日ではない。

この世代の参加を求めるのであれば、開催日設定の配慮が必要。

☑ 30代以下はイベント、子どもの体験・学習支援、情報発信などへは協力的な姿勢がある。

- ▶ 30代以下は子ども関係の取り組みや広報・情報発信に対しては協力的な姿勢。防犯・交通安全、生涯学習・健康づくりも関心はある。
- ▶ 10代は運動会・夏祭り等のイベントに対して協力できる割合がかなり高い。

活動内容に応じて、任せる・声を掛ける対象を工夫するとよいのでは？

☑ 全体の半数以上が、女性・若者の声を反映する必要性が「ある」と思っている。

- ▶ 10代及び30～50代男性は6割が必要と回答。
- ▶ 60～70代の男性も6割が必要と回答している。

お互いにその気はある。声を反映させる機会の充足・工夫が求められている。

☑ 地域全体では約6割が「住み続けたい」と思っているが、10～20代は3割前後。

- ▶ 30代・40代女性・50代女性も全体平均以下。
- ▶ ただし、4～6割が「わからない」という回答。

「わからない」が多いということは、これからの取り組み次第！

☑ 「自分の子どもにも住み続けてほしい」と回答は地域全体では4割。ただし、50代以下は地域平均よりも低い。

- ▶ 30～40代は「住み続けてほしいとは思わない」の割合の方が高い。
- ▶ ただし、50代以下は3～5割が「わからない」と回答。

愛着があっても定住意向が低いのは、将来への希望・安心感が足りていないことが要因ではないか。

☑ 地区全体では6割が「地域に愛着がある」と回答。

- ▶ 定住意向が高くない10～20代は「愛着がある」の割合は5～7割と高い。その一方で、30～50代は地区平均以下。

☑10年後の心配ごと・不安のトップ5は、

- ①屋根の雪おろしや玄関先の門払いなど冬季の除雪
- ②自分自身の健康面
- ③近隣にお店がなくなり日常の買物が不便になること
- ④医療や福祉等の公的サービスが今と同じように受けられるか
- ⑤空き家が増えて管理が行き届かなくなること



世代によって上位にランキングされている内容はかなり異なる。

☑今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ①状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動
- ②買物・通院など、移動支援活動
- ③農地・山林などの維持管理
- ④見回りなど、防犯・交通安全活動
- ⑤住民との交流や空き家紹介など定住受け入れ活動



ランキング上位の内容は世代間でほとんど差がない。

既に実施されている事業もあるが、十分に認知されていないだけのものもある。